

宮城畜試
No.4-2
資料

令和4年度

宮城県畜産試験場年報

2024年2月

宮城県畜産試験場

は し が き

この年報は、宮城県畜産試験場において、
令和4年度に実施した業務の概要についてま
とめたものであり、関係各位の参考になれば
幸いに存じます。

令和6年2月

宮城県畜産試験場

場 長 菊 地 武

目 次

I 試験研究の展望

1. 試験研究の実施概要 1
2. 試験研究課題一覧 3

II 試験研究の紹介

1. 乳牛の生涯生産性向上のための飼養管理方法の開発 5
2. DNA 多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患等との関連に関する研究
(牛) 5
3. 黒毛和種牛の肉質差別化指標開発とゲノミック評価手法の高度化による肉質
・繁殖能力の改良技術の開発 5
4. 効率的な黒毛和種雄牛造成とその活用法に関する研究 5
5. アグリテック活用推進事業 6
6. 牛の受精卵移植技術の実証 6
7. 哺乳動物のフリーズドライ細胞による遺伝資源保存及び発生機構の探求 7
8. 市販培地を活用したウシ体外受精卵作出技術の検討 7
9. 優良種豚供給体制の確立 7
10. DNA 多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患との関連に関する研究
(豚) 8
11. 本県産系統豚の能力向上技術の確立 8
12. イムノシンバイオティクスと DNA マーカーによる豚の腸内環境改善を介する
抗病性向上手法の開発事業 9
13. 飼料作物・牧草適応品種の選定 9
14. 子実用トウモロコシの水田における栽培技術の確立 9
15. 気象変動に対応した飼料作物の栽培 9
16. 除染後の牧草地における草地管理技術の確立 10
17. 堆肥の利用拡大に向けた「特殊肥料等入り指定混合肥料」の製造及び利用方
法の検討 10
18. その他 10

III 研究発表, 広報, 普及活動および研修等

1. 職員の研究発表一覧 11
2. 広報・普及活動（講習会・研修会） 13
3. 会議関係 14
4. 出版物 16
5. 研修 17
6. 普及に移す技術, 参考資料 17
7. 畜産試験場成果報告会 17
8. 表彰等 18

IV 業務の概要

1. 家畜の飼養状況	20
2. 飼養種畜名簿	22
3. 生産物の状況	40
4. 牧草・飼料作物の生産	41
5. 気象経過	43

V 総務

1. 沿革	45
2. 機構	47
3. 会計	49
4. 県有財産	52

I 試験研究の展望

1 試験研究の実施概要

(1) 酪農肉牛部

令和4年度に実施した試験研究は、乳牛チーム1課題、肉牛チーム5課題、バイオテクノロジー研究チーム5課題（肉牛チーム共通2課題含む）で、うち新規課題は1課題である。

乳牛チーム関係では、「乳牛の生涯生産性向上のための飼養管理法の確立」において、プロバイオティクス飼料（枯草菌主体）を給与した区（試験区）で、乳汁中体細胞数が低く推移し、乳房炎発症回数が減少するなど、一定の予防効果を認める結果が得られた。また、枯草菌給与による繁殖機能への効果について検討したところ、繁殖成績への負の影響はないものと示唆された。

肉牛チーム関係では「効率的な黒毛和種種雄牛造成とその活用法に関する研究」において本県肉用牛集団における産肉形質と脂肪の質との遺伝的な関係性を明らかとするため、第7～17回の現場後代検定の食肉格付成績とオレイン酸・不飽和脂肪酸・一価不飽和脂肪酸の遺伝的パラメーター及び種雄牛40頭の育種価を推定した。

バイオテクノロジー研究チーム関係では、「牛の受精卵移植技術の実証に関する研究」において、ブタFSH製剤にヒアルロン酸製剤を添加し、さらにブタFSH製剤の分割投与を組み合わせることが過剰排卵処理成績に及ぼす影響について検討した結果、ブタFSH製剤の分割投与において、ヒアルロン酸を添加ブタFSH製剤筋肉内投与による過剰排卵処理成績は、全ての項目で有意な差は認められなかった。

(2) 種豚家きん部

令和4年度に実施した試験研究は、原種豚チーム3課題、養豚家きんチーム2課題（両チーム共通1課題含む）である。

種豚家きん部共通課題である「優良種豚供給体制の確立」では、系統豚「ミヤギノL2」と系統豚「しもふりレッド」の維持群の能力調査を実施し維持・増殖を図るとともに、「ミヤギノL2」育成雌15頭、「しもふりレッド」育成雄15頭、育成雌41頭、家畜人工授精用液状精液5,823本を配布した。

原種豚チーム関係では、「DNA多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患との関連に関する研究」において、パターン認識受容体TLR5の一塩基多型と「ミヤギノL2」子豚の発育性の関連を調査した結果、雄ではCT型と比較してCC型で背脂肪厚が薄くなる傾向があり、雌ではCT型と比較してCC型で一日平均増体量が低値になる傾向がみられた。「イムノシンバイオティクスとDNAマーカーによる豚の腸内環境改善に介する抗病性向上手法の開発事業」では、離乳子豚にワカメ粉末及び乳酸菌培養液を給与した結果、飼料要求率が改善され、離乳後の下痢で萎縮した絨毛の回復が促進された可能性が示され、前年度の試験との再現性が得られた。

養豚家きんチーム関係では、「本県産系統豚の能力向上技術の確立」において、「しもふりレッド」の母豚、父豚及び子豚の近交度上昇による影響については、子豚の近交度上昇による母豚の離乳時形質への有意な影響が確認された。また、分娩前後の母豚に5-アミノレブリン酸を添加給与したところ、母豚の血清鉄濃度を高め、その産子における離乳後の発育に好ましい影響を与える可能性が示された。さらに、3品種（L種、D種、LWD種）の豚肉について社内一般パネルによる嗜好型官能評価による官能特性を比較

したところ、D種は「ジューシー」、「やわらか」、「甘味」の特性があることが示された。

効性肥料の混合肥料を利用したハクサイの現地実証試験では、慣行施肥区と比較して同等の結果が得られた。

(3) 草地飼料部

令和4年度に実施した試験研究は、草地飼料チーム4課題、環境資源チーム2課題（両チーム共通1課題含む。）で、うち新規課題は1課題である。

草地飼料部関係の共通課題である、「除染後牧草地の維持管理技術の確立」において、放射性物質の移行低減技術を検討した。ゼオライトの添加により土壌中のカリが保持され放射性セシウムの吸収が抑制された。また、牧草の収量が増加すると、土壌からのカリの持ち出し量も増えることから、牧草の収量を高めながら、持続的に放射性セシウムの吸収抑制を図るには、窒素とカリの両成分を供給できる堆肥を効率的に活用することが有効と考えられた。

草地飼料チーム関係では、「飼料作物・牧草適応品種の選定」において、飼料用トウモロコシで県奨励品種となる1品種が選定された。「子実用トウモロコシの水田における栽培技術の確立」では、輪作体系において、稲・大豆などの作物と作業競合をしないで栽培できることが確認された。「気象変動に対応した飼料作物の栽培」では、強害雑草のワルナスビがスーダングラスに被陰により生育が抑制されることやフロストシーディングは、1番草の収量は低かったものの、2番草、3番草で一定の収量を確保することができた。

環境資源チーム関係では、「堆肥の利用拡大に向けた「特殊肥料等入り指定混合肥料」の製造及び利用方法の検討」において、堆肥の混合割合を50%から80%に増加してもペレット堆肥の製品化率や維持率に大きな差はなかった。堆肥と緩

2 試験研究課題一覧

(1) 家畜関係

課 題 名	予算区分	試験期間	担当部・チーム
1. 乳牛の生涯生産性向上のための飼養管理方法の開発	県単受託	平 29～令 4	酪農肉牛部・乳牛チーム
2. DNA 多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患等との関連に関する研究 (牛)	県 単	平 11～	酪農肉牛部・肉牛チーム
3. 黒毛和種牛の肉質差別化指標開発とゲノミック評価手法の高度化による肉質・繁殖能力の改良技術の開発	受 託	令 3～令 5	酪農肉牛部・肉牛チーム
4. 効率的な黒毛和種雄牛造成とその活用法に関する研究	県 単	平 15～	酪農肉牛部・肉牛チーム ・バイオテクノロジー研究チーム
5. アグリテック活用推進事業	県 単	令 3～令 6	酪農肉牛部・肉牛チーム ・バイオテクノロジー研究チーム
6. 牛の受精卵移植技術の実証	県 単	昭 58～	酪農肉牛部・ ・バイオテクノロジー研究チーム
7. 哺乳動物のフリーズドライ細胞による遺伝資源保存及び発生機構の探求	受 託	平 31～令 4	酪農肉牛部・ バイオテクノロジー研究チーム
8. 市販培地を活用したウシ体外受精卵作出技術の検討	受 託	令 4	酪農肉牛部・ バイオテクノロジー研究チーム
9. 優良種豚供給体制の確立	県 単	平 21～	種豚家きん部・原種豚チーム ・養豚家きんチーム
10. DNA 多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患との関連に関する研究 (豚)	県 単	平 8～	種豚家きん部・原種豚チーム ・養豚家きんチーム
11. 本県産系統豚の能力向上技術の確立	県 単	令 2～令 6	種豚家きん部・原種豚チーム ・養豚家きんチーム
12. イムノシンバイオティクスと DNA マーカーによる豚の腸内環境改善を介する抗病性向上手法の開発事業	受 託	令 3～令 5	種豚家きん部・原種豚チーム ・養豚家きんチーム

(2) 草地飼料作関係

課 題 名	予算区分	試験期間	担当部・チーム
1. 飼料作物・牧草適応品種の選定	県単受託	昭 57～	草地飼料部・草地飼料チーム
2. 子実用トウモロコシの水田における栽培技術の確立	受 託	令 4～令 5	草地飼料部・草地飼料チーム
3. 気象変動に対応した飼料作物の栽培	県 単	平 31～令 5	草地飼料部・草地飼料チーム
4. 除染後の牧草地における草地管理技術の確立	県単受託	平 28～令 5	草地飼料部・草地飼料チーム ・環境資源チーム
5. 堆肥の利用拡大に向けた「特殊肥料等入り指定混合肥料」の製造及び利用方法の検討	県 単	令 4～令 6	草地飼料部・環境資源チーム

(3) その他

課 題 名	予算区分	試験期間	担当部・チーム
1. 肉用種雄牛の検定	県 単	昭 55～	酪農肉牛部・肉牛チーム

Ⅱ 試験研究の紹介

1. 乳牛の生涯生産性向上のための飼養管理方法の開発

乳用牛の飼養管理技術・周産期病等の疾病対策技術の向上のため、プロバイオティクス飼料給与による免疫機能向上及び乳房炎発症予防に関する試験を実施した。プロバイオティクス飼料(枯草菌主体)を給与した区(試験区)と未給与の区(対照区)について乳房炎発症状況、分娩後の分房毎の乳汁中体細胞数、血漿成分等について比較した。試験区は、分娩後90日間の体細胞数が低い値で推移し、乳房炎発症率も有意に低い値を示した。乳房炎治療に係る1頭あたりの投薬日数及び出荷停止日数が少なかったことから、プロバイオティクス飼料給与による乳房炎発症抑制効果が示唆された。また、プロバイオティクス給与による繁殖成績への効果検証では、分娩予定1カ月前から分娩後160日間試験区5頭(平均産次2.2産)と対照区5頭(平均産次2産)の合計10頭を供試し比較した結果、繁殖成績は両区間に有意な差は認められなかった。

乳房洗浄による乳房炎治療効果及び生産性への影響分析については、乳房内洗浄およびショート乾乳による治療を実施し、対照区(2頭)は泌乳期用乳房炎軟膏による治療を実施した。試験区は対照区よりも少ない治療で体細胞数の低下及び炎症の改善が確認できた。乳房内洗浄およびショート乾乳による治療を行うことで、薬剤の使用量が減少し、薬剤耐性菌の出現・拡散防止が図られ、生乳廃棄(経済的損失)の低減が可能となることが推察された。

2. DNA多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患等との関連に関する研究(牛)

SNPデータを有する肥育牛を増やしたデータセットを作成し、枝肉重量、ロース芯面積、BMS No.を対象形質として、ssGBLUP法とGBLUP法の評価精度の違いを検証した。枝肉重量、ロース芯面積及びBMS No.を対象としてssGBLUP法とGBLUP法を比較した結果、遺伝率はssGBLUP法でやや高く推定された。また、BLUP法との比較による精度検証をした結果、特にBMS No.についてはパラメータの検討が必要と考えられた。

3. 黒毛和種牛の肉質差別化指標開発とゲノミック評価手法の高度化による肉質・繁殖能力の改良技術の開発

黒毛和種牛肉の「匂い」等の評価指標開発と遺伝子情報を利用した肉質のゲノミック評価指標を確立するため、和牛肉の官能特性に関連する脂肪酸組成のデータを用いて、飼養環境の情報を加味した肉質形質のゲノミック評価手法の確立について検討した。

仙台中央食肉卸売市場で令和4年7月6日に開催された、食肉市場業務開始47周年記念枝肉共進会上場牛の腎周囲脂肪を採材し、併せて食肉脂質測定装置により筋間脂肪の脂肪酸組成を測定した。SNP解析は家畜改良センターにおいて行い、DNA抽出・SNP型判定を実施した。

4. 効率的な黒毛和種雄牛造成とその活用法に関する研究

種雄牛の造成・選抜には、長い期間と多くの費用を要する。そのため、子牛市場の体尺測定値、食肉市場の産肉成績、さらに体外授精技術を組み合わせることにより、短期で効率的な種雄牛能力評価法について検証した。

現場後代検定第7回次から産肉形質とともに、近赤外線脂質測定装置を用いて脂肪の質の測定を行った。遺伝率は、産肉形質ではいずれも中程度から高い値を、脂肪の質はいずれも中程度の遺伝率を示していた。一方、主要な産肉形質とオレイン酸の遺伝相関は-0.06から0.14の範囲にあった。第17回現場後代検定により基幹種雄牛に選抜された「昭光茂」のオレイン酸およびMUFAの育種価推定値は、0.00および+0.46と平均的な値を示していた。

牛の体外受精技術により子牛を生産・肥育して産肉成績を調査し、黒毛和種候補種雄牛産肉能力検定の可能性を実証した。稚羊号の体外受精由来胚からは9頭が生産され5頭の肥育が終了し、枝肉重量527.6kg、BMSNo.8.0、肉質等級A4・A5率は80%であった。昭光茂号の体外受精由来胚からは2頭の子牛が生産され、1頭の肥育が終了し枝肉重量450kg、BMS No.9、肉質等級A4・A5率は100%であった。

5. アグリテック活用推進事業

「仙台牛」の食味やおいしさに関連する脂肪酸組成等について、新たな価値と化学的指標について検討を行った。また、遺伝子情報の利用による改良手法を開発するとともに、「仙台牛」の需要・生産の拡大と「仙台牛」の素牛の改良速度向上について検証を実施した。

「仙台牛」の食味特性の探索とその向上については、粗脂肪と脂肪酸組成をA5（仙台牛）、A4（仙台黒毛和牛）、A3の格付間で比較したところ、A5、A4、A3の順では粗脂肪含量が高い値となった。胸最長筋の脂肪酸組成は、格付間で有意な差は見られなかったものの、脂肪酸指数では粗脂肪含量

が高いものほど高い値となった。

ゲノミック評価による新たな形質評価の実用化については、脂肪酸組成を対象としてssGBLUP法とGBLUP法を比較した結果、遺伝率は、いずれの形質においても両手法でほぼ同程度に推定された。BLUP法との比較による推定精度の検証では、いずれの形質においてもssGBLUP法は高い相関係数が得られたため、より高い精度で評価できることが考えられた。

ゲノミック評価による肉用牛の改良の加速化については、高能力雌牛からの受精卵移植による改良速度向上を目指し、さらに最適かつ効率的な遺伝子評価の材料の採取方法を検討した。黒毛和種雌牛から経膈採卵で採取した卵子を用いて体外受精し、体外受精後2～3日で卵割した8細胞期胚を透明帯除去後にピペッティングにより割球を分離しサンプルに供した。また、体外受精後6～7日目の胚盤胞のバイオプシーを行った。サンプルはillumina Bovine LDチップを用いたSNP型判定を行った。8細胞期胚の割球分離では、全ゲノム増幅（WGA）及びSNP型判定を試みたが、SNP解析精度の指標であるCall rateの低い検体が多かった。一方、胚盤胞期胚のバイオプシーではほぼ全てのサンプルでWGA及びCall rate、DNA量も充分でありSNP型判定が可能であった。8細胞期胚では、細胞数1個から2個に増やすとSNP解析精度の指標を満たすCall rateが得られるサンプルが増加した。

6. 牛の受精卵移植技術の実証

pFSH製剤にヒアルロン酸製剤を添加しさらにpFSH製剤の分割投与を組み合わせることが過剰排卵処理成績に及ぼす影響を検討した。対照区は、発情周期の任意の時期

に膣留置型黄体ホルモン製剤（CIDR）を膣内に挿入すると同時にプロスタグランジン（PG）F2 α を投与し、CIDR 挿入後 7 日目に性腺刺激ホルモン放出ホルモン（GnRH（イトレリン））を 1.25ml 筋肉内に投与した。CIDR 挿入後 10 日目に生理食塩水（生食）10ml に pFSH 製剤 20AU（アントリン）溶解し皮下投与した。CIDR 挿入後 12 日目に CIDR を除去すると同時に PGF2 α を筋肉内に投与し発情を誘起した。PGF2 α 投与開始 31 時間目に GnRH を筋肉内に投与し、その 24 時間後に人工授精を 1 回実施するスケジュールを基本とした。試験区は生食 4.5ml に pFSH 製剤 15AU 溶解しヒアルロン酸製剤（ハイオネート）3ml 加えたものを皮下投与、併せて 2.5ml 生食に 5AU の pFSH 製剤を溶解し筋肉内に投与した。採卵成績の全ての項目において有意な差は認められなかった。

7. 哺乳動物のフリーズドライ細胞による遺伝資源保存及び発生機構の探求

精子のさらなる簡便な保存方法として乾燥精子について検討した。特に干からびても死なないネムリユスリカ等の生物で知られている乾燥耐性に重要な役割を示すトレハロースを精子乾燥の緩衝液に加え、42℃で精子を乾燥させ ICSI を実施し胚発生成績を検討した。対照区としてトレハロース未添加で実施した。胚発生成績に有意な差はなく、精子乾燥液にトレハロースを添加しても受精卵の作出が可能であることが明らかとなった。トレハロース添加乾燥精子の顕微授精で作出された胚盤胞の細胞数を調べた。胚盤胞 8 個の平均細胞数は、栄養膜細胞数 43.6 個、内細胞塊数 45.4 個、総細胞数 89.0 個であった。また、参考として昨年度の胚盤胞数測定成績（DTT 処理乾燥

精子）は、栄養膜細胞数 28.3 個、内細胞塊数 15.7 個、総細胞数 44.0 個であり昨年度の胚盤胞より細胞数が多い成績であった。胚盤胞期胚を受胎牛 1 頭に移植したが受胎は得られなかった。

8. 市販培地を活用したウシ体外受精卵作出技術の検討

実験Ⅰ：自作培地および市販培地の卵割率は 75.2% および 69.9%、胚発生率は 19.4% および 15.0% で有意な差は認められなかった。市販培地を改良するために発生培地に細胞培養液 2 種を加えた修正培地について検討した。市販培地および修正培地の卵割率は 66.7% および 59.5% で有意な差は認められなかった。7 日目の胚盤胞率は 17.9% および 29.7% であり修正培地が有意に高い成績であった。

実験Ⅱ：体外受精後 7 および 8 日目の胚盤胞期胚を 1.8M エチレングリコール + 0.1M L-グルタミン酸ナトリウムで緩慢凍結し、少なくとも 3 日以上液体窒素中で保管した。融解後 24 時間では自作培地は他の 2 区よりも有意に高い成績であり、48 時間では市販培地は他の 2 区よりも有意に低い成績であったが修正培地は自作培地と同等の成績であった。

実験Ⅲ：各試験区の凍結体外受精卵を移植したところ各区間に有意な差は認められなかったが、修正培地（35.0%）で最も高い受胎率であった。

9. 優良種豚供給体制の確立

国内外の産地間競争に打ち勝ち、養豚主産地としての本県の生産体制を確固たるものにするため、発育性・産肉性及び肉質に優れた系統豚「しもふりレッド（デュロツ

ク種)」と繁殖性及び抗病性に優れた系統豚「ミヤギノL2（ランドレース種）」の維持・増殖を行い、県内養豚農家へ配布した。

系統豚しもふりレッドは雄19頭、雌41頭の規模で維持・増殖し、種豚は育成雄15頭、育成雌41頭の合計56頭、家畜人工授精用液状精液は5,823本を県内養豚農家に配布した。系統豚ミヤギノL2は雄9頭、雌21頭の規模で維持・増殖し、育成雌15頭を県内養豚農家に配布した。

今後は、系統豚「ミヤギノL2」及び系統豚「しもふりレッド」の繁殖性・産肉性・抗病性等の特質に配慮しながら維持・増殖を図り、農家の要望に応じた種豚及び家畜人工授精用液状精液の配布を推進する。

10. DNA 多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患との関連に関する研究(豚)

ランドレース種系統豚「ミヤギノL2」について、出現する遺伝的疾患や生産形質に関連するといわれるDNAマーカーの多型を調べ、各形質との関連を調査した。

パターン認識受容体TLR5の一塩基多型とランドレース種系統豚「ミヤギノL2」子豚の発育性の関連を調査したところ、雄ではCT型と比較してCC型で背脂肪厚が薄くなる傾向があり、雌ではCT型と比較してCC型で一日平均増体量が低値になる傾向がみられた。TLR5遺伝子型間での免疫能の違いについては、肥育豚舎移動1週間において糞便中のIgA濃度がCT型と比較してCC型で有意に高値を示した。

今後は、当场で生まれたミヤギノL2について、新たなDNAマーカーであるNLRP3遺伝子多型と発育成績及び出荷成績との関連について調査するとともに、免疫能を評価する測定項目を探索する。

11. 本県産系統豚の能力向上技術の確立

デュロック種系統豚「しもふりレッド」の優れた肉質を維持しつつ、繁殖能力を向上させる育種改良手法の検討及び飼養管理技術の開発を行った。また、「しもふりレッド」と国内外で生産される豚肉の差別化を図るため、筋肉内脂肪含量以外のおいしさにつながる新たな肉質評価指標を探索した。

「しもふりレッド」の母豚、父豚及び子豚の近交度上昇による影響については、母豚及び父豚の近交度の上昇による有意な影響は認められなかったが、子豚の近交度上昇による母豚の離乳時形質への有意な影響が確認された。アミノ酸の一種でヘムの前駆物質である5-アミノレブリン酸を分娩前後の母豚へ添加給与したところ、母豚の血清鉄濃度を高め、その産子における離乳後の発育に好ましい影響を与える可能性が示された。また、3品種(L種、D種、LWD種)の豚肉について社内一般パネルによる嗜好型官能評価による官能特性を比較したところ、D種は「ジューシー」、「やわらか」、「甘味」の特性があることが示された。

今後は、「しもふりレッド」の子豚の近交度上昇による繁殖形質への影響を検討するため、繁殖形質における表型値や適応度について年齢や世代の経過に伴う変化を調査するほか、離乳子豚への5-アミノレブリン酸給与による効果を確認するため、子豚の発育や腸内環境へ及ぼす影響を調査する。また、甘味に関連する理化学成分を解明し「しもふりレッド」の肉質の特性を明らかにするため、令和3年度に行った肥育試験で作出した豚肉について理化学成分分析を行う。

12. イムノシンバイオティクスと DNA マーカーによる豚の腸内環境改善を介する抗病性向上手法の開発事業

豚が本来有する免疫能を増強させる飼料添加物の活用及び飼養管理による総合的な抗病性向上手法を確立するため、ワカメ粉末と乳酸菌を子豚へ給与し、子豚の発育や免疫能及び腸内環境に与える影響について検証した。

ランドレース種系統豚「ミヤギノL2」の離乳子豚にワカメ粉末及び乳酸菌培養液を給与した結果、発育に影響は認められなかったものの飼料要求率が改善された。また、回腸下部の絨毛陰窩長比では、ワカメ粉末及び乳酸菌培養液給与区で非給与区と比較して有意差は得られなかったものの、前年度の試験と同等の結果が得られた。このことから、ワカメ粉末及び乳酸菌培養液の給与によって飼料要求率が改善され、離乳後の下痢で萎縮した絨毛の回復が促進された可能性が示され、前年度の試験との再現性が得られた。

今後は、各種乳酸菌を用いた同様の試験を実施し試験結果を比較検討するとともに、子豚の腸内環境改善に最も有用な乳酸菌の選抜を行う。

13. 飼料作物・牧草適応品種の選定

宮城県での栽培における適応性を検討し、成績が優れた品種を選出して奨励品種選定の資料とすることを目的とし生育特性及び生産性について、調査を行った。

飼料用トウモロコシホールクロップサイレージ用5品種と子実用4品種を対象に生育特性・耐病性及び収量調査を行った。発芽の良否は標準品種と同等であった。また、雄穂抽出期や雄穂開花期等において各系統

の早晚性に応じた結果となった。本試験の結果から「パイオニア 108 日」が本県奨励品種として認定された。

イタリアンライグラス4品種について生育特性、収量性を検討した。極早生の2品種については、例年より根雪期間が80日程度と長いこともあり、雪腐病が発生したため、大幅な収量低下が認められた。

オーチャードグラス2品種について生育特性、収量性を検討した。成績は同程度であった。

14. 子実用トウモロコシの水田における栽培技術の確立

新たな転作作物として子実用トウモロコシを輪作体系に導入するため、水田における栽培技術を確立に向けて検討を行った。トウモロコシの播種時期や品種の調整により、他の作物との作業競合は回避された。また、子実用とモロコシの生産に係る作業時間は2.54時間/10aとなり、生産者からは「労働力が少なく栽培できることが実感できた。可能であれば来年も面積を増やしたい。」との評価をいただいた。

15. 気象変動に対応した飼料作物の栽培

近年の地球温暖化により、気象災害や高温による収量や品質の低下が起きている。そこで、強害雑草の防除と播種時期が遅れた場合の栽培体系について本県における有用性・適応性を検証した。

ワルナスビの防除試験については、スーダングラスの被陰効果と選択制除草剤の効果でワルナスビの生育は抑制されている。

フロストシーディング実証試験では、初冬の播種で1番草の収量が低いものの、牧草地として定着できた。

16. 除染後の牧草地における維持管理技術の確立

放射性セシウム（以下 RCs）に汚染された草地において、除染後も暫定許容値を超える RCs が検出される要因を解析するとともに、RCs 吸収抑制対策のカリなどの土壤成分を効率的に回復させる施肥方法について検討した。

施肥法と牧草中の RCs、ミネラルバランスに及ぼす効果の検討については、緩効性カリとゼオライトを同時に施用することにより、ミネラルバランスを正常値に保ちながら、RCs の吸収を抑制することができた。早春の堆肥施用は、刈取毎のカリ追肥と同等の効果が見られ、費用の低減と労力軽減に有効と考えられた。

除染後牧草地の維持管理技術の確立については、土壤中 RCs 濃度が 40Bq/kg 乾土程度と低かったため、除染後 4 年目の牧草の RCs 濃度は検出下限値程度で各区の違いは見られなかった。カリを施肥せず窒素のみをだけ施肥し続けると土壤中のカリが減少するため、窒素とカリの両成分を供給できる堆肥の効率的活用が、適切な肥培管理を勧めるために有効と考えられた。

17. 堆肥の利用拡大に向けた「特殊肥料等入り指定混合肥料」の製造及び利用方法の検討

家畜ふん尿堆肥の利用促進のため、広く利用希望者のニーズに合う、取り扱いやすい新肥料としての堆肥の試作とその肥効等の調査研究を実施した。

堆肥の混合割合を旧制度の上限である 50% から 80% に増加してもペレット堆肥の製品化率や維持率に大きな差はなかった。堆

肥と緩効性肥料の混合肥料を利用したハクサイの現地実証試験では、慣行施肥区と比較して同等の結果が得られた。

18. その他

肉用種雄牛の検定

肉用牛の経済能力を改良するため、優れた遺伝能力を備えた種雄牛を造成する。このため、交配する繁殖雌牛群の整備、計画交配、候補牛の選定、産肉能力直接検定及び現場後代検定を実施し、能力による選抜を行った。

新たな基幹種雄牛として、「昭光茂」号を選抜し、凍結精液の配布を開始した。県内畜産農家に対して当场に繋養している基幹種雄牛の凍結精液を約 3 万 2 千本供給した。また、直接検定成績から新たに候補種雄牛を 5 頭選抜し、うち 4 頭について現場後代検定に向けて調整交配を開始した。

Ⅲ 研究発表，広報，普及活動および研修等

1. 職員の研究発表一覧

(1) 論文

題 名	発 表 者	誌 名	巻号頁	年 月
[酪農肉牛部] Prevention of mastitis in multiparous dairy cows with a previous history of mastitis by oral feeding with probiotic <i>Bacillus subtilis</i>	Megumi Urakawa, Tao Zhuang, Hidetoshi Sato, Satoru Takanashi, Kozue Yoshimura, Yuma Endo, Teppei Katsura, Tsuyoshi Umino, Koutaro Tanaka, Hitoshi Watanabe, Hiroko Kobayashi, Naokazu Takada, Tomoyuki Kozutsumi, Hiroaki Kumagai, Takafumi Asano, Kohko Sazawa, Nobuhisa Ashida, Guoqi Zhao, Michael T. Rose, Haruki Kitazawa, Hitoshi Shirakawa, Kouichi Watanabe, Tomonori Nochi, Takehiko Nakamura, Hisashi Aso	Animal Science Journal	93.9:(2022)e 13764	2022.9
[種豚家きん部] Exogenous gamma-aminobutyric acid addition enhances porcine sperm acrosome reaction	Kurata, S., Umezu, K., Takamori, H., Hiradate, Y., Hara, K., Tanemura, K.	Animal Science Journal	93.1(2022):e 13744	2022.6
Genome-wide detection of changes in allelic frequency in Landrace pigs selected for resistance to mycoplasma pneumonia of swine	Uemoto, Y., Ichinoseki, K., Matsumoto, T., Oka, N., Takamori, H., Kadowaki, H., Shibata, C., Suzuki, E., Okamura, T., Aso, H., Kitazawa, H., Satoh, M., Uenishi, H., Suzuki, K.	Animal Science Journal	94.1(2023):e 13827	2023.3
[草地飼料部] 混合堆肥複合肥料の作製とペレット化技術の検討	荒木利幸・伊藤裕之	東北農業研究 (Tohoku Agric. Res.)	第75号, 45- 46	2022.12

(2) 口頭発表

題 名	発 表 者	会 名	発表年月日 及 び 場 所	発 表 誌 等
[全般] 枯草菌給与による乳房炎発症予防 効果と乳質に与える影響	浅野貴史	第 71 回東北畜産 学会宮城大会	2022. 8. 29～ 30 仙台市東 北大学青葉 山キャンパ ス web 開催	東北畜産学会 報 Vol. 72No. 2 第 71 回大会号
ICT 機器による分娩監視と昼間分 娩誘起併用による分娩管理省力化 技術の検証	佐沢公子			
デュロック種系統豚における母豚 の近交度の上昇が繁殖形質に及ぼ す影響	庄司宙希			
除染後の牧草地における肥培管理 による土壌中カリ濃度への影響	荒木利幸			
[種豚家きん部] ワカメ加工残渣及び乳酸菌給与が 離乳子豚の絨毛の発達及び腸内細 菌叢に及ぼす影響	松尾賢吾	第 117 回日本養 豚学会大会	2022. 10. 27 web 開催	第 117 回日本 養豚学会大会 講演要旨
デュロック種系統豚「しもふりレ ッド」における理化学成分と官能 特性の関係性	高森広典	第 118 回日本養 豚学会大会	2023. 3. 23 web 開催	第 118 回日本 養豚学会大会 講演要旨
[草地飼料部] 混合堆肥複合肥料の作製とペレッ ト化技術の検討	荒木利幸	第 65 回東北農業 試験研究発表会	2022. 8. 2 青森県青森 市 青森県 立保健大学	第 65 回東北農 業試験研究発 表会講演概要 集

(3) 雑 誌 等

題 名	発 表 者	誌 名	巻 号 頁	発行年月
[酪農肉牛部] ICT 機器活用による繁殖管理の省力 効果	佐沢公子	DAIRYMAN	Vol. 72No. 6 p70	2022. 6
第 17 回現場後代検定成績	高木理宏	畜産みやぎ	第 315 号 p11	2022. 7
ICT 機器及び昼間分娩誘起を併用し た分娩管理による分娩監視の強化及 び労力軽減効果の検証	佐沢公子	宮城県獣医師 会会報	第 75 巻 4 号 p134	2022. 10
受精卵の移植前遺伝子解析について	及川俊徳	畜産みやぎ	第 318 号 p10	2023. 1
ICT 機器による分娩予知と昼間分娩 誘起で分娩管理の労力軽減を！	佐沢公子	みやぎのだよ り	No.133 p6	2023. 3
ICT 機器による分娩予知と昼間分娩 誘起で分娩管理の労力軽減を！	佐沢公子	宮酪情報	No.404 p7	2023. 3

[種豚家きん部] 宮城県養豚研究会研究集会 令和4年度第1回開催報告	庄司宙希	畜産みやぎ	第316号 p7	2022.9
宮城県養豚研究会研究集会 令和4年度第2回開催報告	庄司宙希	畜産みやぎ	第319号 p8	2023.4
[草地飼料部] 新しい飼料作物奨励品種の紹介	田中孝太郎	畜産みやぎ	第314号 p9	2022.5
子実用トウモロコシ収穫実演会開催 報告	田中孝太郎	畜産みやぎ	第317号 p11	2022.10
子実用トウモロコシの水田における 栽培技術の確立	田中孝太郎	機械化農業	通巻3259号 p29	2022.12

(4) 新聞報道等

表 題	掲載新聞等	掲載日等	対応者
乳房炎対策にプロバイオティクス飼料	開拓情報	2022.4.15	佐沢公子
乳牛無監視分娩ゼロに	日本農業新聞	2022.6.29	佐沢公子
子実用トウモロコシの栽培技術確立に	農機新聞	2022.9.12	氏家哲
子実用トウモロコシを検討	農経しんぼう	2022.9.12	氏家哲・田中孝太郎
鹿児島で来月6日から全共	河北新報	2022.9.24	氏家哲
遊休地12%に牧草	河北新報	2022.9.27	氏家哲
宮城県畜産試験場「仙台牛」生産に貢献	日本農業新聞	2023.2.17	氏家哲

2. 広報・普及活動（講習会・研修会）

題 目	講 師	主 催 者	開催年月日	開催場所	参加人数
[酪農肉牛部] 家畜（牛）人工授精講習会	及川俊徳・ 佐藤秀俊・ 浅野貴史・ 佐々木孔亮	畜産課	2022.7.1～ 8.5	大崎市	15人
令和4年度宮城県獣医師会大崎 支部体験発表会	佐沢公子	宮城県獣医師会 大崎支部	2023.1.27	大崎市	18人
宮城県家畜人工授精師協会遠田 支部研修会	千葉正典	宮城県家畜人工 授精師協会遠田 支部	2023.2.22	美里町	30人
美里町和牛改良組合研修会	千葉正典	美里町和牛改良 組合	2023.3.3	美里町	32人

[草地飼料部] 令和4年度子実用とうもろこし 生産拡大に向けた栽培講習会	田中孝太郎	涌谷町	2022.6.27	涌谷町	64人
J A 営農指導員指定研修（畜産 ・飼料作物等）	菅原賢一	J A 宮城中央会	2022.8.30	仙台市	30人
登米市有機センター運営会議研 修会	荒木利幸	登米市	2022.10.21	登米市	15人
令和4年度子実用とうもろこし 生産拡大に向けた成績検討会	田中孝太郎	涌谷町	2023.1.16	涌谷町	46人

3. 会議関係

会議名	出席者	参集範囲	開催月日	開催場所
[全般] 令和4年度東北地域研究・普及連絡 会議 東北農業試験研究推進会議	石川知浩	東北農業研究 センター・東 北農政局・東 北6県	2022.10.25	岩手県 東北農 研センター web 開催
令和4年度東北農業試験研究推進 会議・畜産飼料作推進部会冬期研究会	氏家哲・菊 地武・中條 満・石川知 浩・佐沢公 子・浅野貴 史・高森広 典・田中孝 太郎	東北農業研究 センター・東 北6県	2023.1.24 ～25	岩手県 アイ ーナ
令和4年度第67回宮城県家畜保健 衛生業績発表会	浅野貴史・ 松尾賢吾・ 菅原賢一	宮城県	2023.2.3	（書面審査 開催）
[酪農肉牛部] 令和4年度第1回研究推進評価会議 （課題担当者意見交換会）	佐沢公子・ 浅野貴史	東北大・6県 ・農研機構他	2022.9.29	東北大学 web開催
令和4年度第1回研究推進評価会議 （全体会議）	佐沢公子・ 浅野貴史	東北大・6県 ・農研機構他	2022.10.20	東北大学 web開催
令和4年度効率的胚生産技術共同 試験に係る中間検討会	佐藤秀俊	5県	2022.10.27	茨城県主催 web開催
「黒毛和種の肉質差別化指標開発と ゲノミック評価手法の高度化による 肉質・繁殖能力の改良技術の開発」	高木理宏	農研機構・農 林水産省・家 畜改良センタ	2022.12.21	web開催

令和4年度推進会議		一・16 県		
過剰排卵処理に係るホルモン測定技術研修	佐藤秀俊	宮城県・茨城県・宮崎県	2023.2.4～2.5	岩手県盛岡市 岩手大学農学部
令和4年度和牛の地域特性活用ゲノム選抜定着化事業・ゲノミック評価手法普及・啓発セミナー	高木理宏	畜産技術協会 ・酪農学園大学	2023.3.3	web 開催
令和4年度第2回研究推進評価会議 (課題担当者意見交換会)	佐沢公子・ 浅野貴史	東北大・6 県 ・農研機構他	2023.3.7	東北大学 web 開催
令和4年度効率的胚生産技術共同試験に係る最終検討会	佐藤秀俊	5 県	2023.3.10	長野県主催 web 開催
令和4年度全国 DNA 育種推進会議	高木理宏	家畜改良センター・畜産技術協会・各共同研究機関	2023.3.13	web 開催
令和4年度受精卵移植関連新技術全国会議	及川俊徳・ 佐藤秀俊	全国	2023.3.16	農研機構主催 web 開催
「黒毛和種の肉質差別化指標開発とゲノミック評価手法の高度化による肉質・繁殖能力の改良技術の開発」小課題3 研究打合せ	高木理宏	農研機構・家畜改良センター・各県	2023.3.17	web 開催
[種豚家きん部] 令和4年度豚の新育種技術に関する研究会	庄司宙希・ 松尾賢吾	農研機構・日本養豚協会・農林水産省・家畜改良センター・公設試・大学・民間種豚場	2022.7.14 ～7.15	文部科学省研究 交流センター国際会議場
令和4年度食肉・食肉・鶏卵・乳製品の官能評価ワークショップ	高森広典・ 庄司宙希	農研機構・公設試	2022.10.20 ～10.21	農研機構主催 Web 開催
[草地飼料部] 宮城県牧草地再除染対策チーム会議	菅原賢一・ 田中孝太郎	宮城県	2022.4.25	宮城県 自治会館
「特定復興再生拠点区域等の円滑な営農再開に向けた技術実証」小課題3-2 計画検討会	菅原賢一・ 田中孝太郎	農研機構・4 県	2022.6.8	福島県 農業放射線研究センターweb 開催

令和4年度畜産環境シンポジウム	荒木利幸	全国	2022. 9. 13	東京都 農林水産省 web 開催
飼料作物等高能力新品種選定会議 (東北・北陸・甲信越ブロック)	菅原賢一・ 田中孝太郎	東北・北陸・ 甲信越	2022. 11. 18	宮城県仙台市
「特定復興再生拠点区域等の円滑な 営農再開に向けた技術実証」成績検 討会	菅原賢一・ 田中孝太郎	農研機構・4 県	2023. 2. 3	福島県 農業放 射線研究センタ ーweb 開催
新稲作研究会成績検討会	菅原賢一・ 田中孝太郎	全国	2023. 3. 2	東京都中央区
令和4年度全国農業機械開発改良試 験研究打合せ会議	荒木利幸	全国	2023. 3. 3	埼玉県 農研機 構農業機械研究 部門内 web 開催
自給飼料生産総合推進事業及び飼料 価格高騰対策支援事業に係る飼料作 物展示ほ成績検討会	田中孝太郎	宮城県	2023. 3. 10	宮城県 県庁
第2回宮城県牧草地再除染チーム会 議	田中孝太郎	宮城県	2023. 3. 10	宮城県 県庁
宮城県飼料作物奨励品種等選定協議 会	—	宮城県	2023. 3. 15	書面開催
令和4年度畜産堆肥流通体制支援事 業に係る普及説明会	荒木利幸	全国	2023. 3. 15	東京都トラスト シティ カンファ レンス・神谷町

4. 出 版 物

出 版 物 名	発行年月
宮城県黒毛和種雄牛案内 2022 「第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会出品」	2022. 8
令和3年度宮城県畜産試験場試験成績書	2022. 8
令和3年度宮城県畜産試験場業務年報	2022. 10
宮城県黒毛和種雄牛案内 2023	2023. 3

5. 研 修

主催機関名	研 修 名	受 講 者	期 間	開催場所
[全般] 農林水産省	令和4年度農林水産関係研究リーダー研修会	氏家哲	2022.6.23～24	東京都農林水産省 Web 開催
[酪農肉牛部] 農林水産省	令和4年度中央畜産技術研修（新任畜産技術職員）	佐々木孔亮	2022.9.6～8	福島県西郷村
独立行政法人家畜改良センター	家畜DNA解析技術者研修	高木理宏	2022.10.18～27	福島県西郷村
農林水産省	令和4年度中央畜産技術研修（自給飼料）	浅野貴史	2022.11.8～10	福島県西郷村
農林水産省	令和4年度中央畜産技術研修（肉用牛）	高木理宏	2022.11.29～ 12.2	福島県西郷村
[種豚家きん部] 農林水産省	令和4年度中央畜産技術研修（統計育種遺伝学）	松尾賢吾	2023.1.16～1.20	福島県西郷村

6. 普及に移す技術、参考資料

[発刊号] 普及に移す技術第97号

課 題 名	技術分類	部 門
1 新しい基幹種雄牛「昭光茂」 <small>あきみつしげ</small>	普及技術	家 畜
2 飼料用トウモロコシ奨励品種（早生）「パイオニア108」	普及技術	草地飼料
3 土壌中カリ濃度を指標とした肥培管理による除染後牧草地の放射性セシウム吸収抑制	参考資料	土壤肥料
4 母豚への5-アミノレブリン酸給与による産子への効果	参考資料	家 畜

7. 畜産試験場成果報告会

2023年3月3日開催 参加者29名(Web併用開催)

題 名	発表者
1 新しい基幹種雄牛「昭光茂」号	千葉正典
2 乳用牛における枯草菌給与が乳房炎発症及び乳質に与える影響	浅野貴史
3 嗜好型官能評価によるデュロック種系統豚「しもふりレッド」の肉質特性	高森広典
4 離乳子豚へのワカメ加工残渣及び乳酸菌給与が絨毛及び腸内細菌叢に与える影響	松尾賢吾

5 子実用トウモロコシの水田における現地実証試験	田中孝太郎
6 除染後牧草地の維持管理技術の確立	荒木利幸
7 堆肥の利用拡大に向けた利用方法の検討	荒木利幸

8. 表彰等

チーム名・受賞者名	表彰名	事績
子実用トウモロコシ推進チーム 菅原賢一・田中孝太郎	所属長表彰 農政部長表彰	水田における子実用トウモロコシの栽培技術の確立
鳥インフルエンザ防疫措置緊急 応援チーム 門脇裕司・加藤秀樹・ 尾形優・及川孝昭・ 及川真樹・手代木弘樹・ 石川知浩・高木理宏・ 佐々木孔亮・庄司宙希	所属長表彰	鳥インフルエンザ防疫措置における緊急応援の実施
施設環境整備チーム 柿崎壯則・後藤裕太郎	所属長表彰	適切な環境整備の実施
豚熱ウイルス侵入防止対策チー ム 高森広典・高橋伸和・ 松尾賢吾・吉野淳良・ 庄司宙希・中村義孝・ 加藤秀樹・門間恵・ 尾形 敏	所属長表彰	豚熱の発生予防に向けた防疫対策の強化
獣害対策チーム 門間友和・阿部浩・ 及川真樹・手代木弘樹	所属長表彰	電気牧柵，獣害対策テープ活用による獣害対策

IV 業務の概要

1. 家畜飼養状況

(1) 牛

区 分			期 首 頭 数	受 入					
				生 産	購 入	分 類 換	管 理 換	そ の 他	計
乳牛	ホルスタイン種	成 牛	38	0	0	12	0	0	12
		子 牛	35	38	0	0	0	0	38
肉牛	黒毛和種	種 雄 牛	28	0	0	0	5	0	5
		肥育試験牛	2	0	0	0	0	0	0
		そ の 他	0	0	0	0	0	0	0
	黒毛和種 (供卵牛)	成 牛	29	0	0	0	8	0	8
		子 牛	2	3	0	0	0	0	3
計	ホルスタイン種	成 牛	38	0	0	12	0	0	12
		子 牛	35	38	0	0	0	0	38
	黒毛和種	成 牛	59	0	0	0	13	0	13
		子 牛	2	3	0	0	0	0	3
合 計			134	41	0	12	13	0	66

(2) 豚

区 分	性	期 首 頭 数	受 入					
			生 産	購 入	分 類 換	管 理 換	そ の 他	計
成 豚	雄	31	0	0	4	0	0	4
	雌	61	0	0	20	0	0	20
子 豚	雄	154	496	0	0	0	0	496
	雌	159	494	0	0	0	0	494
合 計		405	990	0	24	0	0	1014

(令和5年3月31日現在)

払 出								期 末 頭 数
売却	廃 用	と 殺	へい死	分類換	管理換	その他	計	
9	0	0	0	0	0	2	11	39
23	0	0	0	12	2	2	39	34
5	0	0	0	0	0	1	6	27
2	0	0	0	0	0	0	2	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	5	1	7	30
2	0	0	0	0	1	0	3	2
9	0	0	0	0	0	2	11	39
23	0	0	0	12	2	2	39	34
8	0	0	0	0	5	2	15	57
2	0	0	0	0	1	0	3	2
42	0	0	0	12	8	6	68	132

払 出								期 末 頭 数
配布 (種豚)	配布 (肉豚)	廃用 (出荷)	へい死 (淘汰)	分類換	管理換	その他	計	
0	0	6	1	0	0	0	7	28
0	0	15	4	0	0	0	19	62
15	107	203	122	4	0	0	451	199
56	43	194	128	20	0	0	441	212
71	150	418	255	24	0	0	918	501

2. 飼養種畜名簿

(1) 種雄牛

名号○印は基幹種雄牛

品 種	名 号	登 録 番 号	生年月日	産 地
黒毛和種	○ 勝 洋	黒 原 5 2 6 1	H21. 1. 7	宮城県
〃	○ 花 茂 桜	黒 原 5 3 9 3	H22. 6. 25	〃
〃	○ 茂 洋 美	黒 原 5 5 8 7	H23. 2. 28	〃
〃	○ 洋 勝 忠	黒 原 5 5 8 9	H23. 5. 12	〃
〃	○ 洋 糸 波	黒 原 5 5 8 6	H23. 3. 23	〃
〃	○ 茂 福 久	黒 原 5 8 3 7	H24. 12. 25	〃
〃	○ 平勝美(宮城)	黒 原 5 8 3 9	H25. 4. 9	〃
〃	○ 皐 月 彰	黒 原 5 8 4 0	H25. 5. 1	〃
〃	○ 好 久 勝	黒 原 6 0 3 1	H26. 9. 9	〃
〃	○ 勝 美 桜 1	黒 原 6 1 0 4	H28. 2. 14	〃
〃	○ 安 百 合 幸	黒 原 6 1 0 6	H28. 6. 15	〃
〃	○ 勝 秀 好	黒 1 5 3 3 1	H27. 8. 22	〃
〃	稚 洋	黒 原 6 2 0 7	H28. 8. 13	〃
〃	百 合 乃 神	黒 原 6 2 0 8	H29. 2. 26	〃
〃	○ 昭 光 茂	黒 原 6 2 0 9	H29. 3. 24	〃
〃	花 勝 洋	黒 原 6 2 1 0	H29. 5. 16	〃
〃	柳 桜	黒 原 6 2 8 1	H29. 9. 21	〃
〃	洋 久 英	黒 原 6 2 8 0	H29. 8. 10	〃
〃	絵 里 波	黒 原 6 2 8 2	H30. 4. 20	〃
〃	勝 茂 桜	黒 原 6 2 8 3	H29. 11. 20	〃
〃	百 合 博	黒 原 6 3 6 0	H30. 12. 25	〃
〃	雅 糸 波	黒 原 6 3 6 1	H31. 1. 24	〃
〃	孝 糸 波	黒 原 6 3 6 2	R 1. 5. 22	〃
〃	茂 勝 久	黒 原 6 2 6 3	R 1. 6. 5	〃
〃	勝 美 雷	黒 原 6 4 3 7	R 1. 9. 6	〃
〃	華 福 久	黒 原 6 4 3 8	R 2. 5. 1	〃
〃	達 福 久	黒 原 6 4 3 9	R 2. 1. 14	〃
〃	茂 花 美	黒 原 6 4 4 0	R 2. 5. 5	〃
〃	咲 太 郎	黒 原 6 5 1 2	R 3. 1. 17	〃
〃	勝 姫 桜	黒 原 6 5 1 3	R 3. 3. 10	〃
〃	幸 勝 吉	黒 原 6 5 1 4	R 2. 11. 15	〃
〃	洋 糸 花	黒 原 6 5 1 5	R 3. 5. 6	〃
〃	誠 平 勝	黒 原 6 5 1 6	R 3. 5. 30	〃

血統		体格得点	備考
父	母		
茂洋	とみてる	82.6	廃用(R5.1.27)
第1花国	とみふく	83.5	廃用(R4.7.6)
茂洋	ともみ	85.2	
茂洋	しも66	84.4	廃用(R4.6.3)
茂洋	きくつる	85.3	
茂勝	ひさこ	84.8	
忠勝美	ななえ	85.0	
安平勝	ふくみ	82.9	
好平茂	ひめかつ	85.3	
勝洋	ゆうこ	85.5	
百合茂	やすこ	83.3	
好平茂	つばさ	81.6	
勝洋	えりか	86.0	廃用(R4.6.3)
百合茂	ゆめはな	83.3	廃用(R4.6.3)
好平茂	ふくゆりこ	85.5	基幹種雄牛へ選抜(R4.5.24)
勝洋	はなごよみ	84.4	廃用(R4.6.3)
勝早桜5	かおり	84.4	
勝洋	ひさいし	84.1	
洋糸波	えりこ	83.8	
勝早桜5	かまふく	83.4	
茂洋美	ゆりひろ	84.6	
洋糸波	きたつるこ	84.1	
洋糸波	みく	84.6	
茂福久	かつひら	84.0	
洋糸波	ななみ	84.5	
茂福久	ふゆこ	84.4	
茂福久	ひさゆり	83.0	
茂洋美	はなこ44	83.0	
茂福久	さくら	83.6	管理替(R4.6.13)
茂福久	かつひめ	83.0	管理替(R4.6.13)
茂洋美	りこ	84.5	管理替(R4.6.13)、勝吉より名号変更(R4.12.16)
洋糸波	つばき	84.4	管理替(R4.5.10)
平勝美(宮城)	ななひさ	85.3	管理替(R4.5.10)

2) 種雌牛

品 種	名 号	登 録 番 号	生年月日	産 地
黒毛和種	み い な	黒 原 1519880	H21. 9. 20	宮城県
〃	れ ん	黒 2388621	H22. 2. 27	〃
〃	す ず ね	黒 2487339	H26. 2. 18	〃
〃	さ と こ	黒 2185099	H16. 8. 5	〃
〃	た だ こ	黒 原 1363350	H17. 12. 6	〃
〃	ひ さ い し	黒 2190733	H16. 9. 7	〃
〃	け い こ	黒 原 1612021	H24. 5. 16	〃
〃	な つ み	黒 原 322956	H16. 10. 5	〃
〃	ひ ろ ひ ろ	黒 原 1392443	H18. 9. 6	〃
〃	は な か つ	黒 2277292	H18. 9. 19	〃
〃	こまはなやす6	黒 高 218038	H21. 6. 8	〃
〃	みつひめかつ	黒 原 1599875	H24. 5. 1	〃
〃	も み じ	黒 原 1735550	H28. 12. 11	宮崎県
〃	う め こ	黒 2588951	H29. 1. 4	〃
〃	ゆ み こ	黒 原 1441502	H19. 9. 3	宮城県
〃	か つ こ	黒 原 1436628	H19. 11. 2	〃
〃	きたつるこ	黒 原 1472726	H20. 10. 26	〃
〃	ひ さ こ	黒 2295802	H19. 6. 18	〃
〃	し ろ い し	黒 原 1601887	H24. 5. 23	〃
〃	え み こ	黒 高 221534	H23. 7. 10	〃
〃	ぜんこう1	黒 2492299	H26. 7. 25	〃
〃	いわ27の41	黒 原 1712043	H28. 3. 23	〃
〃	しげひさ	黒 2588962	H28. 8. 4	〃
〃	いわ28の49	黒 原 1744261	H29. 3. 13	〃
〃	なつみかん	黒 原 1766861	H29. 7. 31	〃
〃	いわ30の1	黒 原 1775155	H30. 4. 4	〃
〃	ひろひめ	黒 2657291	H30. 5. 25	〃
〃	ま ゆ こ	黒 原 1819986	R 1. 8. 26	〃
〃	いわ31の25	黒 2713294	R 1. 9. 16	〃
〃	かよこ3	黒 原 1839675	R 2. 5. 28	〃
〃	かりん	黒 2786183	R 2. 12. 22	〃
〃	いわ21の48	黒 原 1519879	H21. 11. 7	〃
〃	いわ22の27	黒 原 1554016	H22. 9. 1	〃
〃	いわ25の34	黒 原 1659058	H26. 2. 9	〃
〃	いわ27の26	黒 原 1703732	H27. 10. 2	〃

血統		体格得点	備考
父	母		
茂 洋	あやめ10のえい	80.7	
茂 洋	ふ く は	79.7	
茂 洋	いわ22の27	79.6	
第2波 茂	ちさとの9	84.3	廃用
金 幸	かめただ425	83.3	
茂 勝	き く え 1	83.2	
勝 忠 平	し ず こ	80.7	
安 福 久	み や ひ ろ し	80.4	
茂 洋	な つ こ	81.2	
勝 忠 平	か な こ	81.5	へい死
茂 勝	ひ ら ぎ く	83.0	
勝 忠 平	き よ た み	82.0	
安 福 久	は な き た ぐ に	81.5	
勝 忠 平	み つ ひ め	82.1	
美 穂 国	も な か	81.6	
耕 富 士	び い ち	83.0	
勝 忠 平	ま ゆ み	81.1	
勝 忠 平	ひ ら く ら	83.3	
安 糸 福	きたつるしげ	81.7	
安 福 久	ふ く こ	82.9	へい死
安 茂 勝	な み せ い	81.1	
茂 洋	え つ こ	—	
花 清 国	ぜんこう167	82.0	
安 福 久	かめただ425	81.0	
茂 洋	ひ さ い し	79.6	
美 津 照 重	いわ21の11	81.5	
茂 洋	な つ み	81.4	
金 太 郎 3	け い こ	82.0	
洋 糸 波	みつひめかつ	79.8	
茂 福 久	ゆ み こ	82.2	
茂 福 久	も み じ	82.1	
茂 洋	や す こ	80.0	
安 福 久	ふ じ こ	80.4	
安 福 久	かめただ425	82.0	
好 平 茂	ひ さ い し	81.3	

(3) 乳用種

	場No.	品種	名号	登録番号	生年月日	産地
1	152	ホルスタイン種	ミヤチクシ フリスキー レデ`イジ`ヨー	1381044454	H25. 6. 30	畜試
2	171	〃	ミヤチクシ ロース` プ`ラツシュ	1381044898	H26. 9. 5	〃
3	175	〃	ミヤチクシ クリス シ`ヨー	1430044954	H26. 11. 19	〃
4	185	〃	ミヤチクシ チェリー ノマト`	1475745212	H27. 9. 15	〃
5	194	〃	ミヤチクシ ラフ`トル スイー`テイー	1475745380	H28. 3. 14	〃
6	195	〃	ミヤチクシ エント`レス レデ`イ	1475745403	H28. 3. 23	〃
7	202	〃	ミヤチクシ シ`エニ` リリー ET	1498745664	H29. 3. 14	〃
8	203	〃	ミヤチクシ モーニク` スト`ダ`	1498745671	H29. 4. 4	〃
9	204	〃	ミヤチクシ オーシヤン フリスキー	1498745688	H29. 4. 6	〃
10	205	〃	ミヤチクシ ニセコヌフ` リ サクラ	1498745695	H29. 4. 19	〃
11	206	〃	ミヤチクシ エデ`イ エルダ`	1498745701	H29. 5. 12	〃
12	207	〃	ミヤチクシ フォレスト エデ`イ	1498745732	H29. 7. 13	〃
13	208	〃	ミヤチクシ ナイト トム	1498745800	H29. 9. 5	〃
14	209	〃	ミヤチクシ レデ`イスマナ` スイー`テイー	1498745817	H29. 9. 7	〃
15	210	〃	ミヤチクシ オーシヤニツク ラフ`	1498745831	H29. 9. 15	〃
16	211	〃	ミヤチクシ スイート アナ	1498745855	H29. 9. 20	〃
17	213	〃	ミヤチクシ スイート シヤルル	1498745886	H29. 11. 11	〃
18	214	〃	ミヤチクシ ハ`ラタ`イス シク`ナル	1556345959	H30. 1. 9	〃
19	215	〃	ミヤチクシ デ`コレツト エルサ	1568346098	H30. 1. 31	〃
20	217	〃	ミヤチクシ ナイアグ`ラ テイーウエーブ`	1568346050	H30. 4. 14	〃
21	218	〃	ミヤチクシ ハ`リツシュ エルダ`	1568346067	H30. 4. 21	〃
22	219	〃	ミヤチクシ デ`コレツト レデ`イジ`ヨー	1577846152	H30. 6. 3	〃
23	220	〃	ミヤチクシ プ`ラネツト リオン	1577846220	H30. 8. 9	〃
24	222	〃	ミヤチクシ スター`ン コゼ`ツト	1577846282	H31. 1. 28	〃
25	223	〃	デ`イフエント` ラハ`ンガ`ート` ET	1577846305	H31. 2. 7	〃
26	224	〃	ミヤチクシ モントレー トム	1577846336	R1. 5. 14	〃
27	225	〃	ミヤチクシ デ`コレツト リリー	1577846343	R1. 5. 15	〃
28	226	〃	ミヤチクシ レデ`イスマナ` オーシヤン	1576946365	R1. 6. 3	〃
29	227	〃	ミヤチクシ スター`ン スト`ダ`	1576946372	R1. 6. 6	〃
30	228	〃	ミヤチクシ モントレー マウイ エルダ`	1576946389	R1. 6. 18	〃
31	229	〃	ミヤチクシ シク`ナル エルサ	1576946396	R1. 6. 27	〃
32	1	〃	ミヤチクシ スター`ン スイー`テイー	1576946433	R1. 8. 8	〃
33	2	〃	ベンカシー`ン ナイト トム	1576946440	R1. 8. 25	〃
34	3	〃	ミヤチクシ ハ`インツリー サクラ	1576946488	R1. 9. 3	〃
35	4	〃	ミヤチクシ マツハ ハ`ンビ`ーナ	1576946518	R1. 9. 8	〃
36	5	〃	ミヤチクシ フェイス レデ`イ	1576946549	R1. 9. 27	〃
37	6	〃	リリー`ヒル マツクスノマト` シュー`クリン	1576946570	R1. 11. 2	〃
38	7	〃	ミヤチクシ サンタ`ーハ`ート` スプ`ラツシュ	1576946648	R1. 12. 9	〃
39	8	〃	ミヤチクシ ウ`エラーノ シク`ナル	1382446714	R2. 2. 26	〃
40	9	〃	ミヤチクシ ウ`エラーノ エルサ	1382446721	R2. 3. 3	〃
41	10	〃	ミヤチクシ チェリー ウ`エラーノ	1382446745	R2. 3. 9	〃

血統		体格 得点	備考
父名号	母名号		
ヘイリツチラント ^o REW ラブ ^o トル ショー ET	ミヤチクシ モーティー フリスキー		廃用 : R4. 9. 29
シレット テーウエーブ ^o スブ ^o ラツシュ ET	ミヤチクシ オータム ロース ^o		廃用 : R5. 1. 31
ヘイリツチラント ^o REW ラブ ^o トル ショー ET	ミヤチクシ クリスタン ノマト ^o		廃用 : R4. 12. 8
ノースチエリー KS ワールド ^o ET	ミヤチクシ HEF ノマト ^o		
オムラ スイーティー ヤルジヤン ET	ミヤチク ラブ ^o トル シエニー		廃用 : R5. 1. 10
エントレス シュユウス	ミヤチクシ フリスキー レディン ^o ジョー		廃用 : R4. 10. 26
シエニヘツク ハラツク ET	ミヤチクシ リリー エマ	80	廃用 : R4. 6. 8
モーニング ^o ヒュー SHTL ソクラテス ET	ミヤチクシ スター ^o ミリオン	79	
WHG オーシャニツク ショビアン ET	ミヤチクシ レディフリスキー クリス		廃用 : R4. 12. 8
モーニング ^o ヒュー SHTL ソクラテス ET	ミヤチクシ ニセコヌブリ ムツチ	80	
オムラ スイート エディン ET	ミヤチクシ エルタ ^o トリーム	84	
オムラ スイート エディン ET	ミヤチクシ フォレスト トム		
リリーヒル プラネット シュークリン ET	ミヤチクシ リリー トム		
テイユー レディスマナー ショシア	ミヤチクシ フレツト ^o スイーティー	80	
WHG オーシャニツク ショビアン ET	ミヤチクシ マツクスノマト ^o ラブ ^o	83	
オムラ スイート エディン ET	ミヤチクシ レディウエーブ ^o アナ	81	
オムラ スイート エディン ET	ミヤチクシ シヤルル ラブ ^o ラトル	81	
TLM テコレツト シクナル	ミヤチクシ ハラタ ^o イス クリスタン	81	
TLM テコレツト シクナル	ミヤチクシ テスクジ ^o ジョー エルサ	81	死亡 : R4. 7. 25
レイハ ^o ナイアグラ ハリツシュ ET	ミヤチクシ テーウエーブ ^o ハラタ ^o イス	83	
レイハ ^o ナイアグラ ハリツシュ ET	ミヤチクシ エルタ ^o トリーム	83	死亡 : R4. 5. 2
TLM テコレツト シクナル	ミヤチクシ フリスキー レディン ^o ジョー	80	
リリーヒル プラネット シュークリン ET	ミヤチクシ ムツク リオン	80	
ヘイリツチラント ^o スター ^o ハウエル ET	ミヤチクシ プラツクストリーム コセツト	80	
コムスター ラハンカート ^o ET	ディフエント ^o メリージエーン ファースト リー ET	81	
ストレッチャ モントレー マウイ ティーン	ミヤチクシ リリー トム	81	
TLM テコレツト シクナル	ミヤチクシ シエニー リリー ET	78	
テイユー レディスマナー ショシア	ミヤチクシ リリー オーシャン	82	
ヘイリツチラント ^o スター ^o ハウエル ET	ミヤチクシ モーニング ^o スター ^o	83	
ストレッチャ モントレー マウイ ティーン	ミヤチクシ エディン エルタ ^o	80	
TLM テコレツト シクナル	ミヤチクシ テスクジ ^o ジョー エルサ		
ヘイリツチラント ^o スター ^o ハウエル ET	ミヤチクシ フレツト ^o スイーティー	80	
ハンカシーン CCM ウエラーノ	ミヤチクシ ナイト トム		
ハインツリー ナツクル ホーイ	ミヤチクシ ニセコヌブリ サクラ		廃用 : R5. 2. 28
JC マツハ バンビーナ	ミヤチクシ ロース ^o プラツシュ	78	
テイユー フェイス ファツトホーイ	ミヤチクシ エントレス レディ	77	
リリーヒル プラネット シュークリン ET	ミヤチクシ マツクスノマト ^o ラブ ^o	81	廃用 : R5. 1. 15
カトム サンダー ^o ハート ^o	ミヤチクシ シハ ^o ノマト ^o スブ ^o ラツシュ		廃用 : R4. 6. 22
ハンカシーン CCM ウエラーノ	ミヤチクシ ハラタ ^o イス シクナル		
ハンカシーン CCM ウエラーノ	ミヤチクシ テコレツト エルサ	78	
ハンカシーン CCM ウエラーノ	ミヤチクシ チエリー ノマト ^o	80	

	場No.	品種	名号	登録番号	生年月日	産地
42	11	〃	ミヤチクシ ハ° リツシュ ファツトホ°ーイ	1382446783	R2. 3. 31	〃
43	12	〃	ミヤチクシ モーニング° ウ°エアーノ	1382446806	R2. 5. 8	〃
44	13	〃	ミヤチクシ ウエルカム オーション	1382446844	R2. 6. 16	〃
45	14	〃	ミヤチクシ スフイーダ° トム	1382446851	R2. 6. 17	〃
46	15	〃	ミヤチクシ ナイト スフイーダ°	1382446875	R2. 7. 20	〃
47	16	〃	ミヤチクシ シ°エニー ハ°ウエル	1382446899	R2. 8. 5	〃
48	17	〃	ミヤチクシ ファツトホ°ーイ サクラ	1382446905	R2. 8. 20	〃
49	18	〃	ミヤチクシ フォレスト スフイーダ°	1631947009	R3. 1. 5	〃
50	19	〃	ミヤチクシ ナイアグ°ラ フリスキー	1632747028	R3. 1. 18	〃
51	20	〃	ミヤチクシ フ°ルースト フェイス	1632747059	R3. 2. 12	〃
52	21	〃	ミヤチクシ タイムアウト デ°コレット	1632747110	R3. 4. 4	〃
53	22	〃	ミヤチクシ タイムアウト ティーウエーブ°	1632747134	R3. 4. 10	〃
54	23	〃	ミヤチクシ ウインサ°-マナー モントレー	1632747158	R3. 4. 19	〃
55	24	〃	ミヤチクシ クリスタン アリー	1626747225	R3. 6. 15	〃
56	25	〃	ミヤチクシ ファツトホ°ーイ ミリオン	1626747270	R3. 8. 10	〃
57	26	〃	ミヤチクシ シ°エラルト° フ°ラツシュ	1626747287	R3. 8. 19	〃
58	27	〃	ミヤチクシ ハラツク ト°リーム ET	1626747294	R3. 9. 8	〃
59	28	〃	ミヤチクシ ワールド° エルシ	1626747331	R3. 9. 29	〃
60	29	〃	ミヤチクシ ニセコスフ°リ シ°エラルト°	1626747348	R3. 10. 25	〃
61	30	〃	ミヤチクシ シ°エラルト° フリスキー	1626747379	R3. 11. 21	〃
62	31	〃	ミヤチクシ ヘンカシン エミツト ET	1626747386	R3. 12. 8	〃
63	32	〃	ミヤチクシ シ°エラルト° セルシアス	1626747393	R3. 12. 19	〃
64	33	〃	ミヤチクシ エミツト エレン ET	1626747409	R3. 12. 24	〃
65	34	〃	ミヤチクシ アフ°リ エマ	1626747416	R4. 1. 6	〃
66	35	〃	ミヤチクシ エルサ ト°ロリツチ	1626747461	R4. 2. 4	〃
67	36	〃	ミヤチクシ エルダ° サンタ°-ハ°ート°	1626747485	R4. 2. 28	〃
68	37	〃	ミヤチクシ エルダ° シ°エラルト°	1626747508	R4. 3. 13	〃
69	38	〃	ミヤチクシ トム エミツト ET	1626747553	R4. 4. 20	〃
70	39	〃	ミヤチクシ サクラ ト°ロリツチ	1626747560	R4. 5. 1	〃
71	40	〃	ミヤチクシ エルサ リフレクター	1626747584	R4. 6. 16	〃
72	41	〃	ミヤチクシ クリスタン リフレクター	1626747614	R4. 7. 2	〃
73	42	〃	ミヤチクシ ト°ロリツチ フレツト°	1626747621	R4. 7. 2	〃
74	43	〃	ミヤチクシ リリー タイムアウト	1626747638	R4. 7. 8	〃
75	44	〃	ミヤチクシ ニセコスフ°リ エイゾ°ー ET	1626747645	R4. 7. 30	〃
76	45	〃	ミヤチクシ チェリー エクリプ°ス	1626747683	R4. 8. 17	〃
77	46	〃	ミヤチクシ フリスキー リフレクター	1626747706	R4. 8. 23	〃
78	47	〃	ミヤチクシ ナイト ト°ロリツチ	1391947745	R4. 10. 30	〃
79	48	〃	ミヤチクシ シ°エニー エミツト ET	1391947752	R4. 11. 5	〃
80	49	〃	ミヤチクシ シ°エニー エミツト リリー ET	1391947837	R4. 12. 25	〃
81	50	〃	ミヤチクシ アリー ティーウエーブ°	1391947882	R5. 2. 27	〃
82	51	〃	ミヤチクシ エイゾ°ー トム ET	1391947905	R5. 3. 12	〃

血統		体格 得点	備考
父名号	母名号		
テイユー フェイス ファットホーイ	ミヤチクシ ハ° リツシュ エルタ°	80	
ヘンカシーン CCM ウ°エラーノ	ミヤチクシ モーニク° スト°タ°		
MFD ウエルカム スファイター° ET	ミヤチクシ オーシヤン フリスキー		
MFD ウエルカム スファイター° ET	ミヤチクシ リリー トム		
MFD ウエルカム スファイター° ET	ミヤチクシ ナイト トム		
ハ°イリツチラント° スター°ン ハ° ウエル ET	ミヤチクシ シ°エニー リリー ET		
テイユー フェイス ファットホーイ	ミヤチクシ ニセコヌブ°リ サクラ		
MFD ウエルカム スファイター° ET	ミヤチクシ フォレスト エテ°イー		
レイハ°ー ナイアク°ラ ハ° リツシュ ET	ミヤチクシ フリスキー レテ°イシ°ヨー		
テイユー フェイス ファットホーイ	ミヤチクシ プ°ルースト リリー		
テインカーベル タイムアウト ET	ミヤチクシ テ°コレツト エルサ		
テインカーベル タイムアウト ET	ミヤチクシ ナイアク°ラ テイウエーブ°		
ウインザ°マナー SW ナイアク°ラ ET	ミヤチクシ モントレー トム		
ミツキーテ°ール アリー スター°ン ET	ミヤチクシ クリス シ°ヨー		
テイユー フェイス ファットホーイ	ミヤチクシ モーニク° スト°タ°		
コールト° N SW シ°エラルト° ET	ミヤチクシ マツハ ハ°ンビ°ーナ		
シ°エニヘ°ツク ハラツク ET	ミヤチクシ モントレー マウイ エルタ°		
BRF ハンフル パ°フェクト ワールド° ET	ミヤチクシ リリー トム		
コールト° N SW シ°エラルト° ET	ミヤチクシ ニセコヌブ°リ サクラ		
コールト° N SW シ°エラルト° ET	ミヤチクシ エント°レス レテ°イ		
OCD シ°ヒ°ツト エミツト PP ET	ヘンカシーン ナイト トム		
コールト° N SW シ°エラルト° ET	ミヤチクシ フォレスト エテ°イー		
OCD シ°ヒ°ツト エミツト PP ET	ヘンカシーン ナイト トム		
シ°ユールホ°ツクス タ°ヒ°ンチ ヒラリー アプ°リ	ミヤチクシ シ°エニー リリー ET		
サンワート° STEP ト°ロリツチ ET	ミヤチクシ ウ°エラーノ エルサ		
カトム サンダ°ーハ°ート°	ミヤチクシ モントレー マウイ エルタ°		
コールト° N SW シ°エラルト° ET	ミヤチクシ ハ° リツシュ ファットホーイ		
OCD シ°ヒ°ツト エミツト PP ET	ヘンカシーン ナイト トム		
サンワート° STEP ト°ロリツチ ET	ミヤチクシ ハ° インツリー サクラ		
ハツビ°ークロス マツセイ リフレクター ET	ミヤチクシ テ°コレツト エルサ		
ハツビ°ークロス マツセイ リフレクター ET	ミヤチクシ ハ°ラタ°イス シク°ナル		
サンワート° STEP ト°ロリツチ ET	ミヤチクシ レテ°イスマナー スイ°テーイー		
テインカーベル タイムアウト ET	ミヤチクシ ナイト トム		
ハイアーランソン エイゾ°ー ET	ミヤチクシ ハ° インツリー サクラ		
テイユー ナイト エクリプ°ス ET	ミヤチクシ チエリー ノマト°		
ハツビ°ークロス マツセイ リフレクター ET	ミヤチクシ オーシヤン フリスキー		
サンワート° STEP ト°ロリツチ ET	ミヤチクシ ナイト スファイター°		
OCD シ°ヒ°ツト エミツト PP ET	ミヤチクシ シ°エニー ハ° ウエル		
OCD シ°ヒ°ツト エミツト PP ET	ミヤチクシ シ°エニー ハ° ウエル		
ミツキーテ°ール アリー スター°ン ET	ミヤチクシ タイムアウト テイウエーブ°		
ハイアーランソン エイゾ°ー ET	ミヤチクシ ナイト スファイター°		

(4)種雄豚(デュロック種)

育種番号	品種	名号	証明番号	生年月日	血統
					父豚名号
112-4	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 19 3 0508	DD04-A001173	H31.3.9	ミヤチク 01-365(H13.3.21生) DD04-Y036724
118	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 20 5 0465	DD04-A001361	R2.3.10	ミヤチク 01-330(H13.3.14生) DD04-Y036728
118-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 20 5 0466	DD04-A001362	R2.3.10	ミヤチク 01-330(H13.3.14生) DD04-Y036728
123-3	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 19 5 0406	DD04-A001148	H31.1.29	ミヤチク 01-35(H13.2.12生) DD04-Y036729
204-4	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 17 7 0047	DD04-A000888	H29.6.4	ミヤチク シモフリット [*] 14 5 0114(H26.7.28生) DD04-A000445
211-3	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 19 8 0007	DD04-A0001192	H31.4.4	ミヤチク シモフリット [*] 16 5 0056 (H28.6.28生) DD04-A000736
216-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 16 2 0055	DD04-A000735	H28.6.23	ミヤチク シモフリット [*] 14 7 0515(H26.2.15生) DD04-A000383
217-12	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 21 11 0414	DD04-A001734	R4.2.2	ミヤチク シモフリット [*] 14 7 0711(H26.3.25生) DD04-A000420
218	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 21 4 0113	DD04-A001634	R3.7.12	ミヤチク シモフリット [*] 20 5 0465(R2.3.10生) DD04-A001361
218-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 22 7 0418	DD04-A001736	R4.2.10	ミヤチク シモフリット [*] 20 5 0465(R2.3.10生) DD04-A001361
223	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 21 2 0154	DD04-A001639	R3.7.23	ミヤチク シモフリット [*] 19 5 0406(H31.1.29生) DD04-A001148
304	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 19 4 0159	DD04-A001236	R1.7.8	ミヤチク シモフリット [*] 16 4 0482(H28.2.16生) DD04-A000664
304-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 19 9 0246	DD04-A001265	R1.8.26	ミヤチク シモフリット [*] 16 4 0482(H28.2.16生) DD04-A000664
311	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 21 1 0349	DD04-A001515	R3.2.7	ミヤチク シモフリット [*] 19 8 0007(H31.4.4生) DD04-A001192
316	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 20 1 0483	DD04-A001369	R2.3.31	ミヤチク シモフリット [*] 16 2 0055(H28.6.23生) DD04-A000735
316-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 20 8 0475	DD04-A001367	R2.3.31	ミヤチク シモフリット [*] 16 2 0055(H28.6.23生) DD04-A000735
317-1	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 16 7 0504	DD04-A000675	H28.2.21	シモフリット [*] ミヤチク 13 6 0163(H25.7.25生) DD04-A000304
417-2	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 20 7 0413	DD04-A001333	R2.2.20	シモフリット [*] ミヤチク 16 7 0504(H28.2.21生) DD04-A000675
425	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 20 12 0131	DD04-A001418	R2.7.12	シモフリット [*] ミヤチク 16 2 0582(H28.3.11生) DD04-A000700
425-2	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 20 1 0155	DD04-A001430	R2.7.20	シモフリット [*] ミヤチク 16 3 0557(H28.2.25生) DD04-A000691
505	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 18 7 0217	DD04-A001078	H30.7.26	シモフリット [*] ミヤチク 15 3 0193 (H27.7.22生) DD04-A000578
505-2	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 21 3 0041	DD04-A001606	R3.5.28	シモフリット [*] ミヤチク 15 3 0193 (H27.7.22生) DD04-A000578
515	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 18 2 0249	DD04-A001093	H30.8.21	シモフリット [*] ミヤチク 15 8 0354 (H26.9.7生) DD04-A000470
515-2	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 20 6 0171	DD04-A001438	R2.7.24	シモフリット [*] ミヤチク 15 2 0368 (H27.10.6生) DD04-A000619

母豚名号	審査成績					産地	備考
	一般 外貌	体の 構成	資質	乳器・ 生殖器	肢蹄		
ミヤチク シモフリレツト [†] 16 1 0281(H28.10.22生) DD04-A000788	特 A A A A A					当 場	R4.4.20廃用
ミヤチク シモフリレツト [†] 17 6 0018(H29.4.20生) DD04-A000881	A	B	A	A	B	当 場	
ミヤチク シモフリレツト [†] 17 6 0018(H29.4.20生) DD04-A000881	A	B	B	A	C	当 場	
シモフリレツト [†] ミヤチク 15 2 0321(H27.9.14生) DD04-A000607	A	B	A	A	B	当 場	
ミヤチク シモフリレツト [†] 13 9 0238(H25.8.9生) DD04-A000317	A	A	A	A	A	当 場	R4.6.8廃用
シモフリレツト [†] ミヤチク 14 8 0169(H26.7.26生) DD04-A000450	A	B	A	A	B	当 場	R5.2.15廃用
シモフリレツト [†] ミヤチク 15 4 0484(H27.2.13生) DD04-A000503	B	A	A	A	A	当 場	R4.7.13廃用
シモフリレツト [†] ミヤチク 15 2 0321(H27.9.14生) DD04-A000607	B	A	A	A	B	当 場	
シモフリレツト [†] ミヤチク 18 9 0326(H30.9.16生) DD04-A001111	B	B	A	A	C	当 場	
ミヤチク シモフリレツト [†] 18 7 0399(H30.1.30生) DD04-A000980	A	B	A	A	B	当 場	
シモフリレツト [†] ミヤチク 20 2 0390(R2.2.17生) DD04-A001330	B	A	B	A	B	当 場	
シモフリレツト [†] ミヤチク 17 9 0361(H29.2.4生) DD04-A000818	B	B	A	B	C	当 場	
シモフリレツト [†] ミヤチク 13 4 0566(H25.3.13生) DD04-A000146	特 A A A A B					当 場	
ミヤチク シモフリレツト [†] 20 11 0441(R2.2.29生) DD04-A001349	B	B	A	B	B	当 場	
シモフリレツト [†] ミヤチク 19 1 0511(H31.3.14生) DD04-A001178	特 A A A A B					当 場	
シモフリレツト [†] ミヤチク 15 9 0533(H27.2.27生) DD04-A000530	特 A A A A A					当 場	
シモフリレツト [†] ミヤチク 12 6 0789(H24.3.24生) DD04-A000017	A	A	A	A	A	当 場	
ミヤチク シモフリレツト [†] 16 1 0614(H28.3.19生) DD04-A000704	特 A A A A B					当 場	
シモフリレツト [†] ミヤチク 14 8 0608(H26.3.7生) DD04-A000408	A	B	A	A	B	当 場	
ミヤチク シモフリレツト [†] 19 14 0131(R1.7.4生) DD04-A001229	A	A	A	A	A	当 場	R4.11.25へい死
シモフリレツト [†] ミヤチク 14 8 0169(H26.7.26生) DD04-A000450	特 A A A A B					当 場	
シモフリレツト [†] ミヤチク 19 3 0526(H31.3.25生) DD04-A001184	A	A	C	A	B	当 場	
ミヤチク シモフリレツト [†] 17 9 0354(H29.2.2生) DD04-A000816	A	B	B	A	B	当 場	
ミヤチク シモフリレツト [†] 16 1 0281(H28.10.22生) DD04-A000788	B	B	A	A	B	当 場	

(4)種雄豚(ランドレース種)

育種番号	品 種	名 号	証明番号	生年月日	血	
					父豚名号	
206	ランドレース	ミヤギノ L2 17 8 0014	LL04-A000893	H29.6.14	ミヤギノ L2 (H24.1.17 生) LL04-	12-7-466 Y500251
202	ランドレース	ミヤギノ L2 17 7 0120	LL04-A000974	H29.6.30	ミヤギノ L2 (H24.1.9 生) LL04-	12-7-407 Y500248
205	ランドレース	ミヤギノ L2 18 11 0218	LL04-A000996	H30.1.22	ミヤギノ L2 (H26.8.1 生) LL04-	14 5 0336 A000589
203	ランドレース	ミヤギノ L2 19 1 0234	LL04-A001131	H31.1.19	ミヤギノ L2 (H26.1.19 生) LL04-	14 5 0427 A000420
209	ランドレース	ミヤギノ L2 19 5 0239	LL04-A001133	H31.1.20	ミヤギノ L2 (H25.2.20 生) LL04-	13 8 0785 A000191
304	ランドレース	ミヤギノ L2 20 3 0194	LL04-A001196	R2.1.15	ミヤギノ L2 (H27.2.4 生) LL04-	15 6 0623 A000672
201	ランドレース	ミヤギノ L2 20 13 0121	LL04-A001246	R2.6.30	ミヤギノ L2 (H24.7.13 生) LL04-	12 8 0127 A000053
306	ランドレース	ミヤギノ L2 21 9 0321	LL04-A001285	R3.1.26	ミヤギノ L2 (H29.6.14 生) LL04-	17 8 0014 A000893
310	ランドレース	ミヤギノ L2 21 4 0332	LL04-A001289	R3.2.2	ミヤギノ L2 (H29.6.22 生) LL04-	17 10 0075 A000962
205-2	ランドレース	ミヤギノ L2 22 2 0300	LL04-A001367	R4.1.31	ミヤギノ L2 (H26.8.1 生) LL04-	14 5 0336 A000589
305	ランドレース	ミヤギノ L2 22 5 0041	LL04-A001379	R4.6.14	ミヤギノ L2 (H30.1.22 生) LL04-	18 11 0218 A000996
404	ランドレース	ミヤギノ L2 22 3 0232	LL04-A001403	R4.7.24	ミヤギノ L2 (R2.1.15 生) LL04-	20 3 0194 A001196

統	母豚名号	審査成績					産地	備考
		一般 外貌	体の 構成	資質	乳器・ 生殖器	肢蹄		
	ミヤギノ L2 13 9 0790 (H25.2.27 生) LL04- A000193	A	A	A	A	B	当 場	R4.8.31廃用
	ミヤギノ L2 13 10 0260 (H25.7.7 生) LL04- A000368	A	特	A	A	B	当 場	
	ミヤギノ L2 11-6-210 (H23.7.30 生) LL04- Z477084	B	A	A	A	B	当 場	R4.11.12へい死
	ミヤギノ L2 18 9 0183 (H30.1.19 生) LL04- A000992	A	A	A	A	B	当 場	
	ミヤギノ L2 16 5 0209 (H28.1.15 生) LL04- A000760	A	A	A	A	A	当 場	
	ミヤギノ L2 18 11 0215 (H30.1.22 生) LL04- A000994	A	A	A	A	B	当 場	R5.3.8廃用
	ミヤギノ L2 12-6-454 (H24.1.16 生) LL04- Z501759	A	B	A	A	A	当 場	
	ミヤギノ L2 15 7 0842 (H27.3.7 生) LL04- A000701	特	A	A	A	A	当 場	
	ミヤギノ L2 18 9 0183 (H30.1.19 生) LL04- A000992	A	A	A	A	B	当 場	
	ミヤギノ L2 20 5 0178 (R2.1.15 生) LL04- A001188	A	A	A	特	B	当 場	
	ミヤギノ L2 19 7 0155 (R1.7.18 生) LL04- A001175	A	A	特	特	B	当 場	
	ミヤギノ L2 20 5 0178 (R2.1.15 生) LL04- A001188	特	A	A	A	B	当 場	

(5)種雌豚(デュロック種)

育種番号	品種	名号	証明番号	生年月日	血統
					父豚名号
311-2	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 17 9 0361	DD04-A000818	H29.2.4	シモフリット [*] ミヤチク 13 3 0363(H25.9.13生) DD04-A000339
329-2	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 19 10 0191	DD04-A001243	R1.7.31	シモフリット [*] ミヤチク 13 3 0363(H25.9.13生) DD04-A000339
329-3	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 20 12 0126	DD04-A001416	R2.7.12	シモフリット [*] ミヤチク 16 2 0582(H28.3.11生) DD04-A000700
403	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 19 14 0131	DD04-A001229	R1.7.4	ミヤチク シモフリット [*] 14 7 0711(H26.3.25生) DD04-A000420
411	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 20 5 0459	DD04-A001354	R2.3.7	ミヤチク 01-330(H13.3.14生) DD04-Y036728
411-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 21 7 0098	DD04-A001623	R3.7.11	ミヤチク シモフリット [*] 19 8 0007(H31.4.4生) DD04-A001192
416	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 16 4 0075	DD04-A000745	H28.7.6	シモフリット [*] ミヤチク 13 6 0163(H25.7.25生) DD04-A000304
429	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 22 5 0060	DD04-A001790	R4.5.14	ミヤチク シモフリット [*] 19 3 0508(H31.3.9生) DD04-A001173
431-2	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 15 2 0321	DD04-A000607	H27.9.14	シモフリット [*] ミヤチク 12 2 0336(H24.9.2生) DD04-A000095
431-3	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 18 9 0326	DD04-A001111	H30.9.16	シモフリット [*] ミヤチク 13 3 0363(H25.9.13生) DD04-A000339
434	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 18 7 0399	DD04-A000980	H30.1.30	ミヤチク シモフリット [*] 14 7 0711(H26.3.25生) DD04-A000420
449	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 19 3 0526	DD04-A001184	H31.3.25	シモフリット [*] ミヤチク 15 2 0368(H27.10.6生) DD04-A000619
454-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 17 6 0018	DD04-A000881	H29.4.20	ミヤチク シモフリット [*] 14 7 0515(H26.2.15生) DD04-A000383
458	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 18 2 0253	DD04-A001103	H30.8.20	ミヤチク シモフリット [*] 14 7 0515(H26.2.15生) DD04-A000383
458-2	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 21 7 0341	DD04-A001510	R3.2.3	シモフリット [*] ミヤチク 15 3 0193(H27.7.22生) DD04-A000578
503	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 20 1 0153	DD04-A001428	R2.7.20	シモフリット [*] ミヤチク 16 3 0557(H28.2.25生) DD04-A000691
503-2	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 21 2 0393	DD04-A001531	R3.2.24	シモフリット [*] ミヤチク 15 2 0368(H27.10.6生) DD04-A000619
503-3	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 22 4 0394	DD04-A001717	R4.1.23	ミヤチク シモフリット [*] 20 5 0465(R2.3.10生) DD04-A001361
511	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 21 1 0399	DD04-A001533	R3.3.6	ミヤチク シモフリット [*] 14 7 0711(H26.3.25生) DD04-A000420
511-2	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 21 2 0255	DD04-A001680	R3.9.19	シモフリット [*] ミヤチク 20 6 0171(R2.7.24生) DD04-A001438
511-3	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 22 4 0148	DD04-A001819	R4.7.16	ミヤチク シモフリット [*] 19 8 0007(H31.4.4生) DD04-A001192
516	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 19 5 0085	DD04-A001216	R1.6.14	シモフリット [*] ミヤチク 10-10-288(H22.9.13生) DD04-Y042992
516-2	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 20 6 0334	DD04-A001301	R2.1.18	シモフリット [*] ミヤチク 10-10- 288(H22.9.13生) DD04-Y042992
516-3	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 21 10 0309	DD04-A001695	R3.11.16	ミヤチク シモフリット [*] 19 5 0406(H31.1.29生) DD04-A001148
531-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 20 8 0209	DD04-A001452	R2.8.23	ミヤチク シモフリット [*] 19 8 0007(H31.4.4生) DD04-A001192
531-3	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 21 3 0410	DD04-A001538	R3.3.11	ミヤチク シモフリット [*] 19 5 0406(H31.1.29生) DD04-A001148

母豚名号	審査成績					産地	備考
	一般 外貌	体の 構成	資質	乳器・ 生殖器	肢蹄		
シモフリット [*] ミヤチク 12 9 0257(H24.8.10生) DD04-A000078	特 A	特 A	A	B	A	当 場	
シモフリット [*] ミヤチク 14 8 0608(H26.3.7生) DD04-A000408	A	特 A	A	A	B	当 場	
シモフリット [*] ミヤチク 14 8 0608(H26.3.7生) DD04-A000408	A	A	A	B	B	当 場	
シモフリット [*] ミヤチク 11-1-999(H23.7.10生) DD04-Z083967	A	B	B	B	C	当 場	
シモフリット [*] ミヤチク 17 9 0361(H29.2.4生) DD04-A000818	A	B	A	B	C	当 場	
シモフリット [*] ミヤチク 17 9 0361(H29.2.4生) DD04-A000818	A	B	A	C	C	当 場	R4.11.16廃用
シモフリット [*] ミヤチク 13 8 0010(H25.4.5生) DD04-A000165	A	A	A	A	B	当 場	
シモフリット [*] ミヤチク 19 10 0191(R1.7.31生) DD04-A001243	A	B	A	B	B	当 場	
ミヤチク シモフリット [*] 14 7 0512(H26.2.15生) DD04-A000382	A	A	C	B	B	当 場	
ミヤチク シモフリット [*] 14 7 0512(H26.2.15生) DD04-A000382	A	A	B	B	B	当 場	
シモフリット [*] ミヤチク 14 7 0653(H26.3.13生) DD04-A000413	A	B	A	B	B	当 場	R4.4.6へい死
ミヤチク シモフリット [*] 17 9 0354(H29.2.2生) DD04-A000816	A	B	A	B	B	当 場	
シモフリット [*] ミヤチク 14 10 0618(H26.3.12生) DD04-A000409	A	A	A	B	A	当 場	R4.9.21廃用
シモフリット [*] ミヤチク 17 10 0338(H29.1.28生) DD04-A000807	A	A	A	B	B	当 場	R4.4.20廃用
シモフリット [*] ミヤチク 17 10 0338(H29.1.28生) DD04-A000807	A	A	A	B	C	当 場	
ミヤチク シモフリット [*] 19 14 0131(R1.7.4生) DD04-A001229	A	特 A	A	B	B	当 場	R4.8.26淘汰
ミヤチク シモフリット [*] 19 14 0131(R1.7.4生) DD04-A001229	B	A	B	A	B	当 場	R4.4.28廃用
ミヤチク シモフリット [*] 19 14 0131 (R1.7.4生) DD04-A001229	B	A	B	C	B	当 場	
ミヤチク シモフリット [*] 20 5 0459(R2.3.7生) DD04-A001354	A	A	B	B	B	当 場	R5.2.24廃用
ミヤチク シモフリット [*] 20 5 0459(R2.3.7生) DD04-A001354	B	B	A	B	A	当 場	
ミヤチク シモフリット [*] 20 5 0459(R2.3.7生) DD04-A001354	A	B	B	B	A	当 場	
シモフリット [*] ミヤチク 16 4 0075(H28.7.6生) DD04-A000745	A	特 A	A	A	A	当 場	
シモフリット [*] ミヤチク 16 4 0075(H28.7.6生) DD04-A000745	A	B	A	B	B	当 場	
シモフリット [*] ミヤチク 16 4 0075(H28.7.6生) DD04-A000745	A	A	A	A	B	当 場	
シモフリット [*] ミヤチク 15 2 0321(H27.9.14生) DD04-A000607	B	A	A	A	A	当 場	
ミヤチク シモフリット [*] 19 8 0005(H31.4.4生) DD04-A001191	A	A	B	A	B	当 場	

育種番号	品種	名号	証明番号	生年月日	血統
					父豚名号
534	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 19 1 0511	DD04-A001178	H31.3.14	シモフリット [*] ミヤチク 13 3 0363(H25.9.13生) DD04-A000339
534-2	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 20 4 0269	DD04-A001477	R2.10.22	シモフリット [*] ミヤチク 18 7 0217(H30.7.26生) DD04-A001078
537-3	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 21 11 0068	DD04-A001611	R3.6.14	ミヤチク シモフリット [*] 19 3 0508(H31.3.9生) DD04-A001173
546	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 19 2 0310	DD04-A001288	R1.11.18	シモフリット [*] ミヤチク 10-10-288(H22.9.13生) DD04-Y042992
546-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 20 3 0044	DD04-A001391	R2.5.8	ミヤチク シモフリット [*] 14 7 0711(H26.3.25生) DD04-A000420
549	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 20 2 0261	DD04-A001476	R2.10.22	ミヤチク シモフリット [*] 19 9 0246(R1.8.26生) DD04-A001265
549-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 22 5 0032	DD04-A001778	R4.4.19	ミヤチク シモフリット [*] 17 7 0047(H29.6.4生) DD04-A000888
554	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 18 1 0068	DD04-A001045	H30.4.20	シモフリット [*] ミヤチク 13 1 0393(H25.10.2生) DD04-A000350
554-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 20 5 0464	DD04-A001360	R2.3.10	ミヤチク 01-330(H13.3.14生) DD04-Y036728
555-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 20 11 0441	DD04-A001349	R2.2.29	ミヤチク シモフリット [*] 17 7 0047(H29.6.4生) DD04-A000888
555-3	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 20 12 0183	DD04-A001440	R2.7.28	シモフリット [*] ミヤチク 15 3 0193(H27.7.22生) DD04-A000578
558-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 21 5 0269	DD04-A001682	R3.9.29	ミヤチク シモフリット [*] 14 7 0711(H26.3.25生) DD04-A000420
558-3	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 22 1 0405	DD04-A001726	R4.1.30	ミヤチク シモフリット [*] 20 5 0465(R2.3.10生) DD04-A001361
603	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 22 2 0379	DD04-A001721	R4.1.23	ミヤチク シモフリット [*] 20 5 0465(R2.3.10生) DD04-A001361
603-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 22 3 0110	DD04-A001808	R4.7.2	ミヤチク シモフリット [*] 19 5 0406(H31.1.29生) DD04-A001148
607	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 21 9 0031	DD04-A001596	R3.5.28	ミヤチク シモフリット [*] 19 9 0246(R1.8.26生) DD04-A001265
631	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 19 3 0503	DD04-A001170	H31.3.9	ミヤチク 01-365(H13.3.21生) DD04-Y036724
631-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 21 1 0234	DD04-A001672	R3.8.31	ミヤチク シモフリット [*] 17 7 0047(H29.6.4生) DD04-A000888
634	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 21 1 0276	DD04-A001685	R3.10.11	ミヤチク シモフリット [*] 20 5 0465(R2.3.10生) DD04-A001361
634-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 22 5 0399	DD04-A001728	R4.1.30	ミヤチク シモフリット [*] 20 5 0466(R2.3.10生) DD04-A001362
637-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 21 2 0443	DD04-A001550	R3.3.15	ミヤチク シモフリット [*] 16 2 0055(H28.6.23生) DD04-A000735
646	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 21 1 0366	DD04-A001521	R3.2.11	ミヤチク シモフリット [*] 17 7 0047(H29.6.4生) DD04-A000888
654	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 20 2 0390	DD04-A001330	R2.2.17	シモフリット [*] ミヤチク 16 7 0504(H28.2.21生) DD04-A000675
654-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 21 2 0202	DD04-A001661	R3.8.2	ミヤチク シモフリット [*] 19 9 0246(R1.8.26生) DD04-A001265
654-3	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 21 5 0289	DD04-A001690	R3.11.9	ミヤチク シモフリット [*] 19 9 0246(R1.8.26生) DD04-A001265
655	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 22 4 0082	DD04-A001796	R4.6.3	ミヤチク シモフリット [*] 14 7 0711(H26.3.25生) DD04-A000420

母豚名号	審査成績					産地	備考
	一般 外貌	体の 構成	資質	乳器・ 生殖器	肢蹄		
ミヤチク シモフリレット [*] 18 7 0399(H30.1.30生) DD04-A000980	B	B	A	A	B	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 18 7 0399(H30.1.30生) DD04-A000980	B	A	B	A	C	当 場	
シモフリレット [*] ミヤチク 15 3 0273(H27.8.18生) DD04-A000596	B	B	B	C	C	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 18 8 0429(H30.2.5生) DD04-A000991	A	B	B	A	B	当 場	R5.3.1廃用
ミヤチク シモフリレット [*] 18 8 0429(H30.2.5生) DD04-A000991	A	A	B	A	B	当 場	R5.1.11廃用
シモフリレット [*] ミヤチク 19 3 0526(H31.3.25生) DD04-A001184	A	A	A	A	B	当 場	R4.10.19廃用
シモフリレット [*] ミヤチク 19 3 0526(H31.3.25生) DD04-A001184	A	A	A	B	A	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 17 6 0018(H29.4.20生) DD04-A000881	B	A	B	B	B	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 17 6 0018(H29.4.20生) DD04-A000881	A	A	A	A	B	当 場	
シモフリレット [*] ミヤチク 13 6 0368(H25.9.23生) DD04-A000341	B	B	A	A	B	当 場	
シモフリレット [*] ミヤチク 13 6 0368(H25.9.23生) DD04-A000341	B	B	A	A	B	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 18 2 0253(H30.8.20生) DD04-A001103	A	B	C	A	B	当 場	
シモフリレット [*] ミヤチク 21 7 0341(R3.2.3生) DD04-A001510	B	A	A	A	B	当 場	
シモフリレット [*] ミヤチク 20 1 0153(R2.7.20生) DD04-A001428	B	B	A	B	A	当 場	
シモフリレット [*] ミヤチク 20 1 0153(R2.7.20生) DD04-A001428	B	B	A	C	A	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 16 1 0614(H28.3.19生) DD04-A000704	B	B	B	A	C	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 16 1 0281(H28.10.22生) DD04-A000788	A	A	A	B	C	当 場	
ミヤチク シモフリレット 20 8 0209(R2.8.23生) DD04-A001452	B	B	A	B	C	当 場	R4.10.19廃用
シモフリレット [*] ミヤチク 20 4 0269(R2.10.22生) DD04-A001477	A	B	A	B	B	当 場	R5.2.8廃用
シモフリレット [*] ミヤチク 19 1 0511(H31.3.14生) DD04-A001178	A	B	A	B	A	当 場	
シモフリレット [*] ミヤチク 19 8 0251(R1.9.6生) DD04-A001270	A	A	A	A	B	当 場	
シモフリレット [*] ミヤチク 19 2 0310(R1.11.18生) DD04-A001288	特 A	A	B	C	C	当 場	
シモフリレット [*] ミヤチク 18 1 0068(H30.4.20生) DD04-A001045	A	A	B	A	B	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 20 5 0464(R2.3.10生) DD04-A001360	B	A	A	B	B	当 場	
シモフリレット [*] ミヤチク 18 1 0068(H30.4.20生) DD04-A001045	A	B	A	B	B	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 20 11 0441(R2.2.29生) DD04-A001349	B	A	B	C	B	当 場	

(5)種雌豚(ランドレース種)

育種番号	品 種	名 号	証明番号	生年月日	血	
					父豚名号	
226	ランドレース	ミヤギノ L2 15 7 0842	LL04-A000701	H27.3.7	ミヤギノ L2 12 7 407 (H24.1.9 生) LL04- Y500248	
217-2	ランドレース	ミヤギノ L2 17 9 0231	LL04-A000866	H29.1.23	ミヤギノ L2 13 8 0785 (H25.2.20 生) LL04- A000191	
343-2	ランドレース	ミヤギノ L2 17 9 0286	LL04-A000876	H29.2.1	ミヤギノ L2 15 6 0574 (H27.2.1 生) LL04- A000655	
347	ランドレース	ミヤギノ L2 17 8 0126	LL04-A000978	H29.7.2	ミヤギノ L2 14 3 0427 (H26.1.19 生) LL04- A000420	
229-4	ランドレース	ミヤギノ L2 18 11 0215	LL04-A000994	H30.1.22	ミヤギノ L2 14 5 0336 (H26.8.1 生) LL04- A000589	
323	ランドレース	ミヤギノ L2 19 1 0232	LL04-A001130	H31.1.19	ミヤギノ L2 14 3 0427 (H26.1.19 生) LL04- A000420	
342	ランドレース	ミヤギノ L2 19 8 0026	LL04-A001156	R1.6.28	ミヤギノ L2 15 6 0574 (H27.2.1 生) LL04- A000655	
323-2	ランドレース	ミヤギノ L2 19 6 0072	LL04-A001161	R1.7.5	ミヤギノ L2 18 11 0218 (H30.1.22 生) LL04- A000996	
323-3	ランドレース	ミヤギノ L2 19 2 0124	LL04-A001167	R1.7.8	ミヤギノ L2 12 8 0127 (H24.7.13 生) LL04- A000053	
447	ランドレース	ミヤギノ L2 19 3 0130	LL04-A001169	R1.7.9	ミヤギノ L2 12 8 0127 (H24.7.13 生) LL04- A000053	
317	ランドレース	ミヤギノ L2 19 4 0138	LL04-A001172	R1.7.15	ミヤギノ L2 12-7-466 (H24.1.17 生) LL04- Y500251	
326	ランドレース	ミヤギノ L2 19 7 0155	LL04-A001175	R1.7.18	ミヤギノ L2 15 6 0623 (H27.2.4 生) LL04- A000672	
443	ランドレース	ミヤギノ L2 20 5 0178	LL04-A001188	R2.1.15	ミヤギノ L2 17 7 0120 (H29.6.30 生) LL04- A000974	
329-3	ランドレース	ミヤギノ L2 20 3 0187	LL04-A001190	R2.1.15	ミヤギノ L2 15 6 0623 (H27.2.4 生) LL04- A000672	
217-3	ランドレース	ミヤギノ L2 20 14 0300	LL04-A001221	R2.2.29	ミヤギノ L2 13 8 0785 (H25.2.20 生) LL04- A000191	
342-2	ランドレース	ミヤギノ L2 20 9 0088	LL04-A001238	R2.6.24	ミヤギノ L2 18 11 0218 (H30.1.22 生) LL04- A000996	
246-3	ランドレース	ミヤギノ L2 20 13 0124	LL04-A001247	R2.7.3	ミヤギノ L2 13 8 0785 (H25.2.20 生) LL04- A000191	
246-4	ランドレース	ミヤギノ L2 20 13 0125	LL04-A001248	R2.7.3	ミヤギノ L2 13 8 0785 (H25.2.20 生) LL04- A000191	
207	ランドレース	ミヤギノ L2 20 13 0150	LL04-A001255	R2.7.8	ミヤギノ L2 19 5 0239 (H31.1.20 生) LL04- A001133	
207-2	ランドレース	ミヤギノ L2 20 13 0151	LL04-A001256	R2.7.8	ミヤギノ L2 19 5 0239 (H31.1.20 生) LL04- A001133	
326-2	ランドレース	ミヤギノ L2 21 10 0032	LL04-A001326	R3.6.15	ミヤギノ L2 14 5 0336 (H26.8.1 生) LL04- A000589	
534	ランドレース	ミヤギノ L2 21 4 0059	LL04-A001338	R3.6.22	ミヤギノ L2 17 7 0120 (H29.6.30 生) LL04- A000974	
326-3	ランドレース	ミヤギノ L2 22 11 0216	LL04-A001355	R4.1.19	ミヤギノ L2 20 13 0121 (R2.6.30 生) LL04- A001246	
317-2	ランドレース	ミヤギノ L2 22 9 0220	LL04-A001356	R4.1.20	ミヤギノ L2 17 8 0014 (H29.6.14 生) LL04- A000893	
447-2	ランドレース	ミヤギノ L2 22 7 0269	LL04-A001362	R4.1.28	ミヤギノ L2 21 4 0332 (R3.2.2 生) LL04- A001289	
329-4	ランドレース	ミヤギノ L2 22 8 0030	LL04-A001383	R4.6.14	ミヤギノ L2 21 4 0332 (R3.2.2 生) LL04- A001289	
634	ランドレース	ミヤギノ L2 22 1 0089	LL04-A001391	R4.6.19	ミヤギノ L2 18 11 0218 (H30.1.22 生) LL04- A000996	

統	母豚名号	審査成績					産地	備考
		一般 外貌	体の 構成	資質	乳器・ 生殖器	肢蹄		
	ミヤギノ L2 11 5 533 (H23.1.12 生) LL04- Z476497	特 A	A	A	A	B	当場	R4.8.3廃用
	ミヤギノ L2 12-7-646 (H24.2.3 生) LL04- Z501799	A	A	A	特 A	A	当場	R4.8.3廃用
	ミヤギノ L2 12-3-707 (H24.2.10 生) LL04- Z501809	特 A	特 A	A	A	A	当場	R5.3.17淘汰
	ミヤギノ L2 13 3 0722 (H25.2.12 生) LL04- A000178	A	A	A	A	A	当場	R4.7.20廃用
	ミヤギノ L2 11-6-210 (H23.7.30 生) LL04- Z477084	A	A	A	A	B	当場	R5.2.15廃用
	ミヤギノ L2 18 9 0183 (H30.1.19 生) LL04- A000992	A	A	A	A	B	当場	
	ミヤギノ L2 15 5 0821 (H27.3.5 生) LL04- A000700	A	B	A	A	B	当場	
	ミヤギノ L2 16 5 0209 (H28.1.15 生) LL04- A000760	A	B	A	A	A	当場	R4.7.6廃用
	ミヤギノ L2 18 9 0183 (H30.1.19 生) LL04- A000992	A	A	A	A	B	当場	R5.2.8廃用
	ミヤギノ L2 17 8 0126 (H29.7.2 生) LL04- A000978	A	A	A	A	B	当場	
	ミヤギノ L2 17 9 0231 (H29.1.23 生) LL04- A000866	A	A	A	A	B	当場	
	ミヤギノ L2 15 7 0842 (H27.3.7 生) LL04- A000701	A	A	A	A	A	当場	
	ミヤギノ L2 17 9 0286 (H29.2.1 生) LL04- A000876	A	A	A	A	B	当場	
	ミヤギノ L2 18 11 0215 (H30.1.22 生) LL04- A000994	A	A	A	A	A	当場	
	ミヤギノ L2 12-7-646 (H24.2.3 生) LL04- Z501799	B	A	A	A	B	当場	
	ミヤギノ L2 15 5 0821 (H27.3.5 生) LL04- A000700	特 A	A	A	A	B	当場	
	ミヤギノ L2 13 10 0209 (H25.7.6 生) LL04- A000356	特 A	A	A	A	B	当場	
	ミヤギノ L2 13 10 0209 (H25.7.6 生) LL04- A000356	A	A	A	A	A	当場	
	ミヤギノ L2 13 10 0260 (H25.7.7 生) LL04- A000368	特 A	A	A	A	B	当場	
	ミヤギノ L2 13 10 0260 (H25.7.7 生) LL04- A000368	特 A	A	A	A	B	当場	
	ミヤギノ L2 15 7 0842 (H27.3.7 生) LL04- A000701	B	A	A	B	A	当場	
	ミヤギノ L2 19 1 0288 (H31.1.29 生) LL04- A001144	A	B	B	A	B	当場	
	ミヤギノ L2 15 7 0842 (H27.3.7 生) LL04- A000701	B	A	A	A	B	当場	
	ミヤギノ L2 17 9 0231 (H29.1.23 生) LL04- A000866	A	A	A	A	B	当場	
	ミヤギノ L2 17 8 0126 (H29.7.2 生) LL04- A000978	B	B	A	A	A	当場	
	ミヤギノ L2 18 11 0215 (H30.1.22 生) LL04- A000994	特 A	A	A	A	A	当場	
	ミヤギノ L2 21 4 0059 (R3.6.22 生) LL04- A001338	A	A	A	特 A	A	当場	

3 生産物の状況

(1) 生乳の生産 (単位 : kg)

区 分	生産量
生 乳	304,353

(2) 人工授精用精液の生産配布

1) 牛

(単位 : 本)

区 分	前年繰越	生産量	払 出				翌年繰越
			譲 渡	場 用	その他	計	
黒毛和種	204,638	28,120	31,824	40	21,108	52,972	179,786

2) 豚

(単位 : 本)

区 分	前年繰越	生産量	払 出				翌年繰越
			譲 渡	場 用	その他	計	
デュロック	0	6,757	5,823	213	721	6,757	0
計	0	6,757	5,823	213	721	6,757	0

(3) 受精卵の生産配布

1) 牛

(単位 : 個)

区 分	生産量	譲 渡
黒毛和種	90	69

4 牧草・飼料作物生産

(1) 生産状況

利用区分	面積	草種	施肥量	収穫回数及び収穫時期	生草収量	調製形態
採草地	53.0ha	オーチャードグラス	年間 N-P-K 2-0-0 kg/10a 堆肥 2t/10a	3回 1番草 令和4年 5月18日 ～5月30日 2番草 7月26日 ～8月1日 3番草 9月13日 ～9月29日	1.0～2.0 t/10a	1番草 ラップサイレージ 2番草 ラップサイレージ 3番草 ラップサイレージ
放牧地	2.9ha	オーチャードグラス ペレニアルライグラス	休牧			
飼料畑	6.6ha	飼料用トウモロコシ P2088(RM118) 播種日 4月19日 栽植密度 7,400本/10a	基肥 (側条施肥) N-P-K 10-5-5 kg/10a タンカル 80kg/10a ようりん 40kg/10a 堆肥 2t/10a	1回 令和4年 8月29日 ～8月31日	6.4t/10a	バンカーサイロ 及び 地下サイロ,
計	62.5ha					

※放牧地2.9haは放射性物質の除染を行っていないため利用自粛。

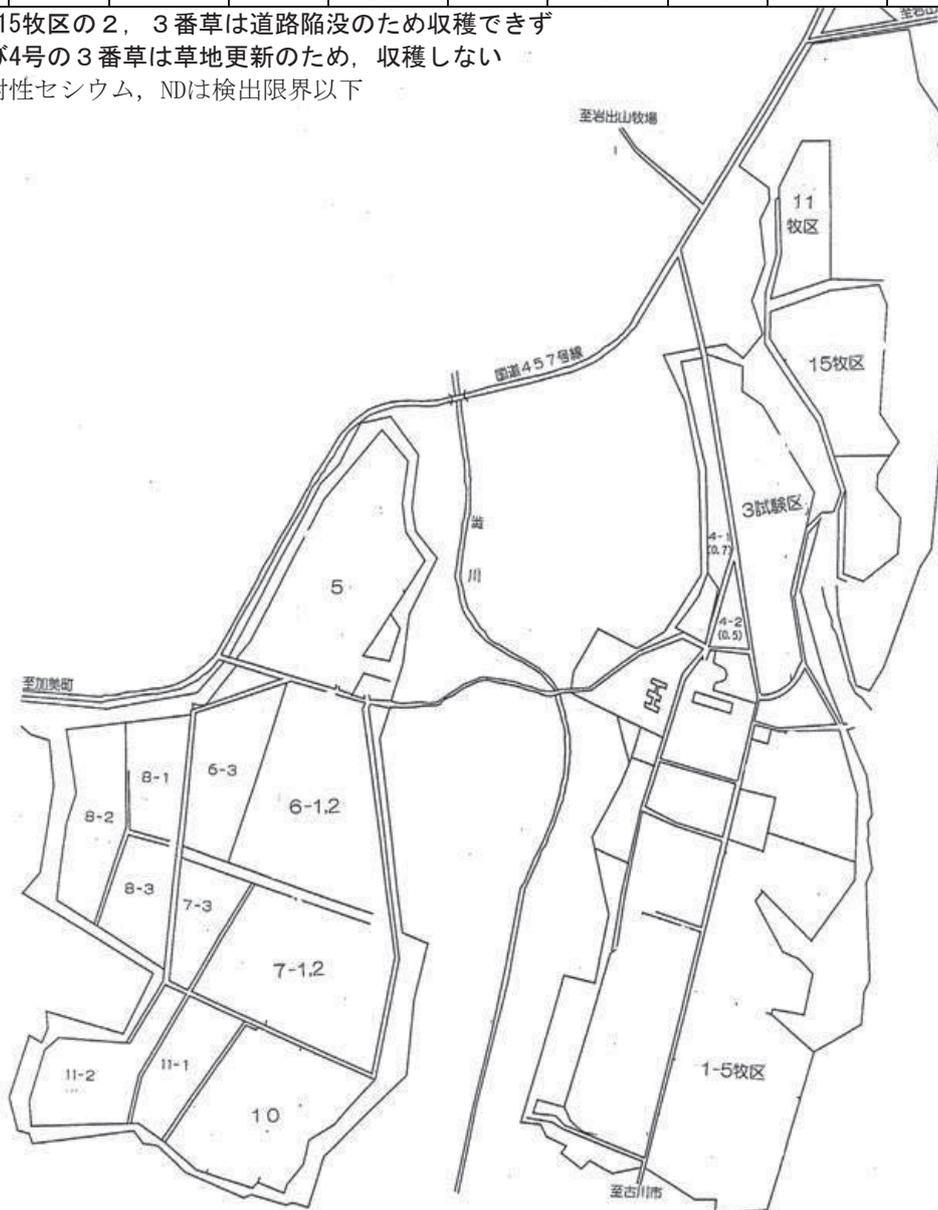
(2) 害虫及び雑草防除

利用区分	内容	処理日	使用薬剤
飼料用トウモロコシ	雑草防除 6.6ha	令和4年4月20日 (土壌処理) 令和4年5月23日 (茎葉処理)	ゲザノゴールト アルファート
採草地	害虫防除 24.0ha 雑草防除 4.0ha 雑草防除 21.3ha	令和4年3月25, 30日 令和4年4月20日 令和4年10月18, 19日	スミチオン乳剤 ハーモニー DF 水和剤 バンベルD液剤

令和4年産牧草サイレージ生産実績及び放射性物質検査結果

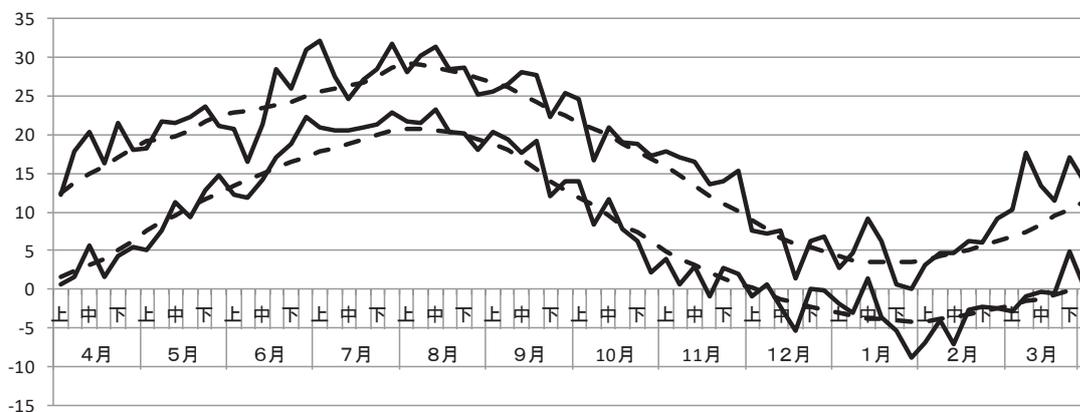
圃場名	面積 (ha)	番草別収穫ロール個数(収穫日)						合計	摘要 優先草種
		1番草		2番草		3番草			
		5/18 ~5/30	RCs Bq/kg	7/26 ~8/1	RCs Bq/kg	9/13 ~9/29	RCs Bq/kg		
3号-1.2	3.2	9	ND	7	0.9	-	-	16	オーチャート [®]
4号-1.2	1.2	0	-	2	-	-	-	2	オーチャート [®]
6号-1.2	6.8	32	ND	31	0.8	11	0.9	74	オーチャート [®]
6号-3	2.8		0.4		ND		0.8		オーチャート [®]
7号-1.2	5.9	31	ND	13	ND	7	0.6	51	オーチャート [®]
7号-3	2.1	9	ND	6	0.9	4	0.6	19	オーチャート [®]
8号-1.3	3.8	30	ND	28	1.1	4	0.8	62	オーチャート [®]
8号-2	2.8		0.7		1.0		オーチャート [®]		
10号	5.6	44	ND	18	ND	1	0.8	63	オーチャート [®]
11号	4.8	15	ND	21	ND	8	0.6	44	オーチャート [®]
1-5牧区	8.5	23	0.6	16	0.8	13	0.8	52	オーチャート [®]
11号牧区	2.6	9	0.8	-	-	-	-	9	オーチャート [®]
15号牧区	2.9	7	0.8	-	-	-	-	7	オーチャート [®]
ロール計	50.9	209		142		48		399	

※11号牧区15牧区の2, 3番草は道路陥没のため収穫できず
 3号および4号の3番草は草地更新のため、収穫しない
 RCsは放射性セシウム, NDは検出限界以下

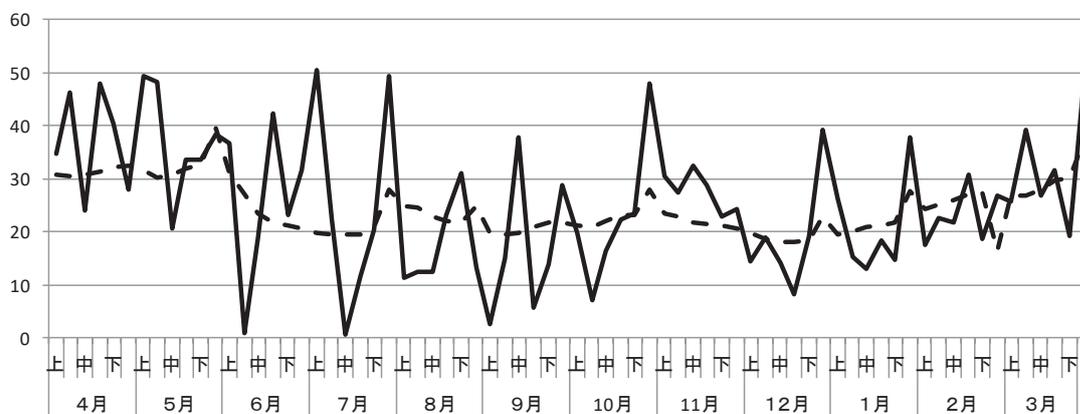


5 気象経過

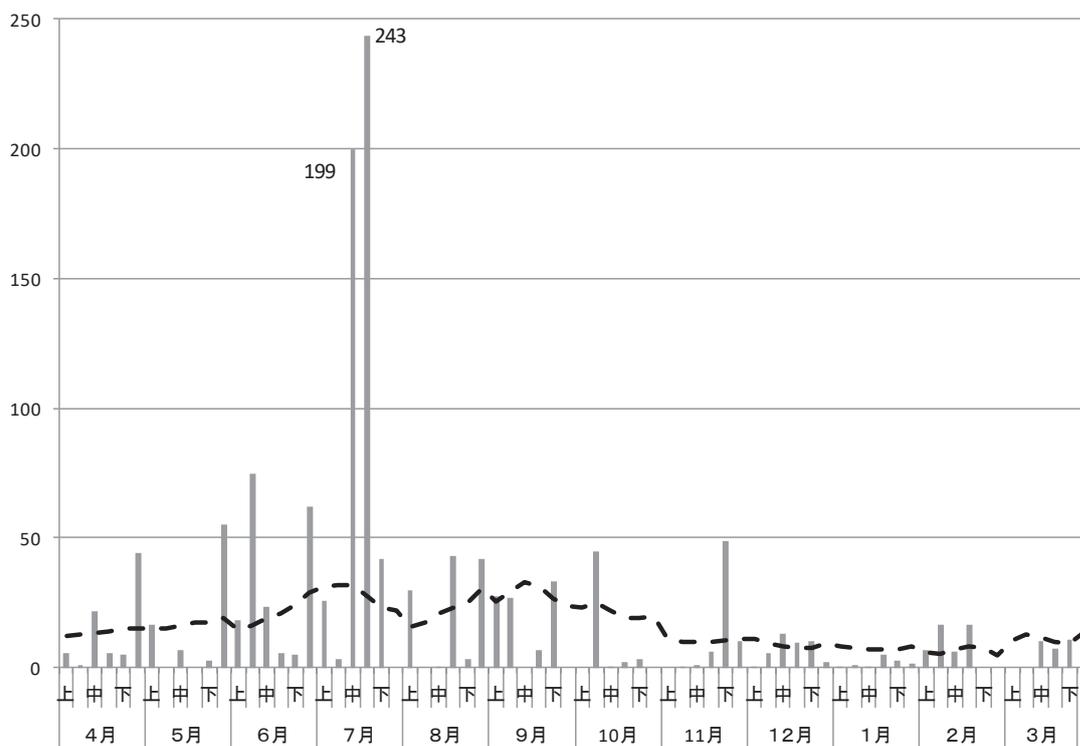
令和4年度の気象経過(古川アメダス)
気温(°C)



日照時間(hr)



降水量(mm)



※破線は平年値

V 総務

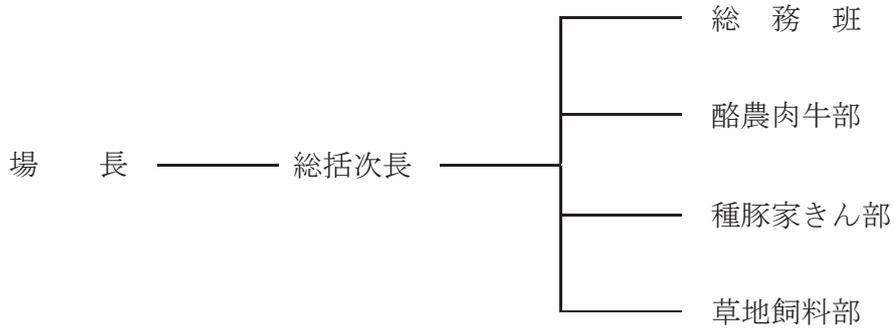
1. 沿 革

- 大正 10 年 8 月 刈田郡白石町大字郡山（現白石市）に創設。種牛（ホルスタイン種・改良和種）に関する業務のみ施行。
- 昭和 3 年 4 月 緬羊、山羊、豚、鶏および兎に関する業務を追加施行。
- 昭和 19 年 4 月 有畜農業指導員養成施設を併置。
- 昭和 22 年 4 月 上記養成施設が畜産技術員養成施設と改められる。
- 昭和 24 年 5 月 玉造郡西大崎村（現岩出山町）所在の農林省宮城種畜牧場の廃場に伴いその施設と家畜を譲受。
- 昭和 24 年 6 月 白石町より西大崎村に移転更に加美種畜場を閉鎖、その家畜を当場に移し新たに馬に関する業務を加えて総合種畜場として発足。
- 昭和 29 年 10 月 家畜人工授精（牛）メインセンターを併設、県内北部（5 家畜保健衛生所管内）に精液配布業務を開始。
- 昭和 32 年 4 月 鶏の抜取見本産卵能力検定（R S T）実施。
- 昭和 33 年 4 月 種雄牛を集中管理。人工授精精液を県内一円配布。
- 昭和 35 年 11 月 組織改正により、家畜、家きん、飼料作物に関する試験研究業務を追加。
- 昭和 36 年 10 月 畜産技術員養成施設が畜産技術講習施設に改正。
- 昭和 40 年 4 月 豚の産肉能力検定事業を開始。
- 昭和 43 年 4 月 液体窒素による牛凍結精液を県内一円に配布開始。
- 昭和 43 年 10 月 玉造郡鳴子分場（旧開拓営農普及農場）併置（昭和 46 年 3 月に閉鎖）。
- 昭和 45 年 4 月 庶務、種畜、草地飼料の 3 課制となる。
- 昭和 48 年 4 月 宮城県畜産試験場に改め、総務課、家畜第一部（乳牛科、肉牛科、畜産化学科）、家畜第二部（養豚科、養鶏科、畜産公害科）及び草地飼料部（草地科、飼料科）の 1 課 3 部制となる。
- 昭和 49 年 6 月 種雄牛「茂重波」を兵庫県より購入、同年精液配布（昭和 63 年 1 月廃用）。
- 昭和 52 年 4 月 現在の本館を建設。宮城県農業実践大学校（現宮城県農業大学校）が併設される。
- 昭和 53 年 4 月 総務課、研究第一部（経営研究科、乳牛科、肉牛科）、研究第二部（養豚科、養鶏科、畜産化学科）、研究第三部（草地飼料科、畜産公害科）となる。
- 昭和 58 年 4 月 研究第二部に原種豚造成科を新設し、種豚舎と検定豚舎完成。同時に畜産化学科を研究第三部に編入。
- 昭和 59 年 6 月 前年受精卵移植技術に着手し、本県最初の受精卵移植による子牛が誕生。
- 昭和 61 年 4 月 場内組織を総務課、酪農肉牛部、種豚家きん部、草地飼料部に改称し、酪農肉牛部に受精卵研究科を新設。
- 平成 2 年 3 月 前年ランドレース種系統造成完了、「ミヤギノ」の系統認定を受ける。
- 平成 2 年 4 月 原種豚造成科を原種豚科に改称。
- 平成 4 年 6 月 高泌乳牛の飼養管理を目的とした乳牛舎完成。

- 平成 5 年 4 月 「茂勝」を基幹種雄牛に選定した（平成 16 年 12 月廃用）。
- 平成 9 年 4 月 受精卵研究科をバイオテクノロジー研究科に改称。翌年 1 月バイオテク棟完成。
- 平成 11 年 4 月 組織改正により、総務班、酪農肉牛部（乳牛チーム、肉牛チーム、バイオテクノロジー研究チーム）、種豚家きん部（原種豚チーム、養豚家きんチーム）、草地飼料部（草地飼料チーム、環境資源チーム）となる。
- 平成 14 年 3 月 前年デュロック種系統造成完了、「しもふりレッド」の系統認定を受ける。
翌年 2 月原種豚舎完成。
- 平成 14 年 8 月 家畜排せつ物法に対応した、たい肥化棟（強制発酵処理施設）を建設。
- 平成 19 年 3 月 「茂洋」を基幹種雄牛に選定した（令和元年 9 月廃用）。
- 平成 21 年 3 月 前年ランドレース種系統造成完了、「ミヤギノ L 2」の系統認定を受ける。
- 平成 30 年 11 月 新しい種雄牛舎と精液採取棟完成。

2. 機 構

(1) 機 構 図



(2) 職 員 名 簿

(令和5年3月31日現在)

所 属	職 名	氏 名
	場 長	氏家 哲
	副参事兼総括次長 (兼班長)	千葉 茂
総 務 班	兼 班 長	千葉 茂
	主 任 主 査	伊藤 淳一
	主 任 主 査	大柳 麻衣子
	主 査	後藤 裕太郎
	主 事	柿崎 壮則
酪農肉牛部	部 長	菊地 武
乳牛チーム	副主任 研究員	佐沢 公子
	技 師	浅野 貴史
肉牛チーム	主 任 研 究 員	千葉 和義
	主 任 研 究 員	千葉 正典
	技 師	高木 理宏
	技 師	佐々木 孔亮
バイオテクノロジー 研究チーム	上席主任研究員	及川 俊徳
	主 任 研 究 員	佐藤 秀俊
(酪農肉牛部兼 草地飼料部)	技師(農場業務主任)	門脇 裕司
	技師(農場業務主任)	尾形 優
	技師(農場業務主任)	千葉 美保
	技師(農場業務)	岩浅 忍
	技師(農場業務)	及川 孝昭
	技師(農場業務)	小澤 志歩

所 属	職 名	氏 名
種豚家きん部	部 長	中條 満
養豚家きんチーム	上席主任研究員	高橋 伸和
	主任研究員	高森 広典
	技 師	庄司 宙希
原種豚チーム	研 究 員	松尾 賢吾
	研 究 員	吉野 淳良
(種豚家きん部)	技師(農場業務主任)	中村 義孝
	技師(農場業務主任)	加藤 秀樹
	技師(農場業務)	門間 恵
	技師(農場業務)	菅原 雄司
	技師(農場業務)	尾形 敏
草地飼料部	部 長	石川 知浩
草地飼料チーム	上席主任研究員	菅原 賢一
	技 師	田中 孝太朗
環境資源チーム	上席主任研究員	荒木 利幸
	技 師	伊藤 裕之
(酪農肉牛部兼 草地飼料部)	技師(農場業務主任)	阿部 浩
	技師(農場業務)	及川 真樹
	技師(農場業務)	門間 友和
	技師(農場業務)	手代木 弘樹

3. 会 計

(1) 歳 入

(令和5年5月31日現在)

科 目	収 入 額	備 考
	円	
使用料及び手数料	826,080	
使用料	826,080	鉄塔敷等使用料
財 産 収 入	69,704,407	
財 産 売 払 収 入	69,704,407	
物品売払収入	5,859,419	肥育牛等販売代金
生産物売払収入	63,844,988	原乳等販売代金
諸 収 入	9,005,997	
受 託 事 業 収 入	8,984,000	受託事業収入
雑 収 入	21,997	電気代等
収 入 証 紙 収 入	86,079,400	和牛・豚精液
計	164,789,804	

(2) 歳 出

	0 2 総務費		0 6 農林水産業費		
	0 1 総務管理費		0 1 農業費		
	0 1 一般管理費	0 2 人事管理費	0 2 総合農政 企画指導費	0 7 食料需給総 合対策費	1 2 農業改良 普及費
0 1 報 酬					
0 2 給 料					
0 3 職員手当等					
0 4 共 済 費					
0 7 報 償 費					
0 8 旅 費		22,736			
1 0 需 用 費		4,400			
1 1 役 務 費		9,897			
1 2 委 託 料					
1 3 使用料及び 賃借料					
1 4 工事請負費					
1 7 備品購入費					
1 8 負担金及び 補助交付金		14,400			
2 1 補償補填及 び賠償金					
2 6 公 課 費					
計	0	51,433	0	0	0

(単位：円、令和5年5月31日現在)

				合 計
0 2 畜産業費				
1 4 農業試験 研究費	0 2 畜産振興費	0 3 家畜保健 衛生費	0 4 畜産試験 研究費	
				0
	2,277,113		197,134,622	199,411,735
	571,674		47,533,752	48,105,426
	384,185		8,846,796	9,230,981
25,000				25,000
	1,197,918		641,368	1,862,022
	61,666,742	1,748,289	113,635,259	177,054,690
	8,575,860		2,931,233	11,516,990
	11,834,892		12,781,554	24,616,446
	470,448		13,037,993	13,508,441
			8,217,000	8,217,000
			7,610,988	7,610,988
	147,420		45,700	207,520
				0
			254,608	254,608
25,000	87,126,252	1,748,289	412,670,873	501,621,847

4. 県有財産

(1) 土地

区 分	利用区分	面 積	備 考
行政財産	敷 地	159,051.71 m ²	建 物
〃	圃 場	989,594.33 m ²	そ の 他
〃	山 林	9,863.00 m ²	
計		1,158,509.04 m ²	
普通財産	敷 地	8,679.74 m ²	
計		8,679.74 m ²	
合 計		1,167,188.78 m ²	

(2) 建物

区 分	利用区分	面 積	備 考
行政財産	本 館	2,240.98 m ²	二 階 建
〃	畜舎その他	15,225.01 m ²	
計		17,465.99 m ²	
普通財産	宿 舎	465.14 m ²	
計		465.14 m ²	
合 計		17,931.13 m ²	

編集委員長

石川知浩

編集委員

福田純子 千葉正典

松尾賢吾 荒木利幸

宮城県畜産試験場年報（令和4年度）

令和6年2月発行

編集兼発行 宮城県畜産試験場
宮城県大崎市岩出山南沢字樋渡1
電話番号(0229)-72-3101
郵便番号989-6445

